男女貞潔之理想　會長　島田三郎
公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

4 — 201

明治四十四年八月一日第三種郵便物認可
大正六年六月一日納本
（毎月一回一日發行）

廓清

第七巻第六號

□廓清時言……伊藤江南
□人生の理想化……早大教授　安部磯雄
□勞動階級の生活……法學博士　山脇玄
□青年と性慾……醫學博士　藤浪鑑
□日本の在外醜業婦……萬國婦人矯風會　ストラウト
□淨瑠璃の男女道德……六合雜誌記者　一條忠衛
□我國民性と其生活……慶大教授　向軍治
□敎育ある婦人の務……婦人の友主筆　羽仁もと子
□招魂祭と藝妓行列……救世軍中國中隊長　高城中校
□遊廓物語（玉ゐき遊）……婦人救濟係　伊藤大尉
□男女の裸體に就て……風俗改め會幹事　高島米峰
□天鼓の響……川部傳
□廓清春秋……元大阪商業學校長　河合北洲

東京　廓清會本部　發行

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ライオン煉歯磨

新しい容器に盛る
新しい製品！

ライオン煉歯磨は最も進歩せる歯磨の形式にして、
品質優秀・使用便利
香味佳快・効果的確

現代人の最も歡ぶところ。

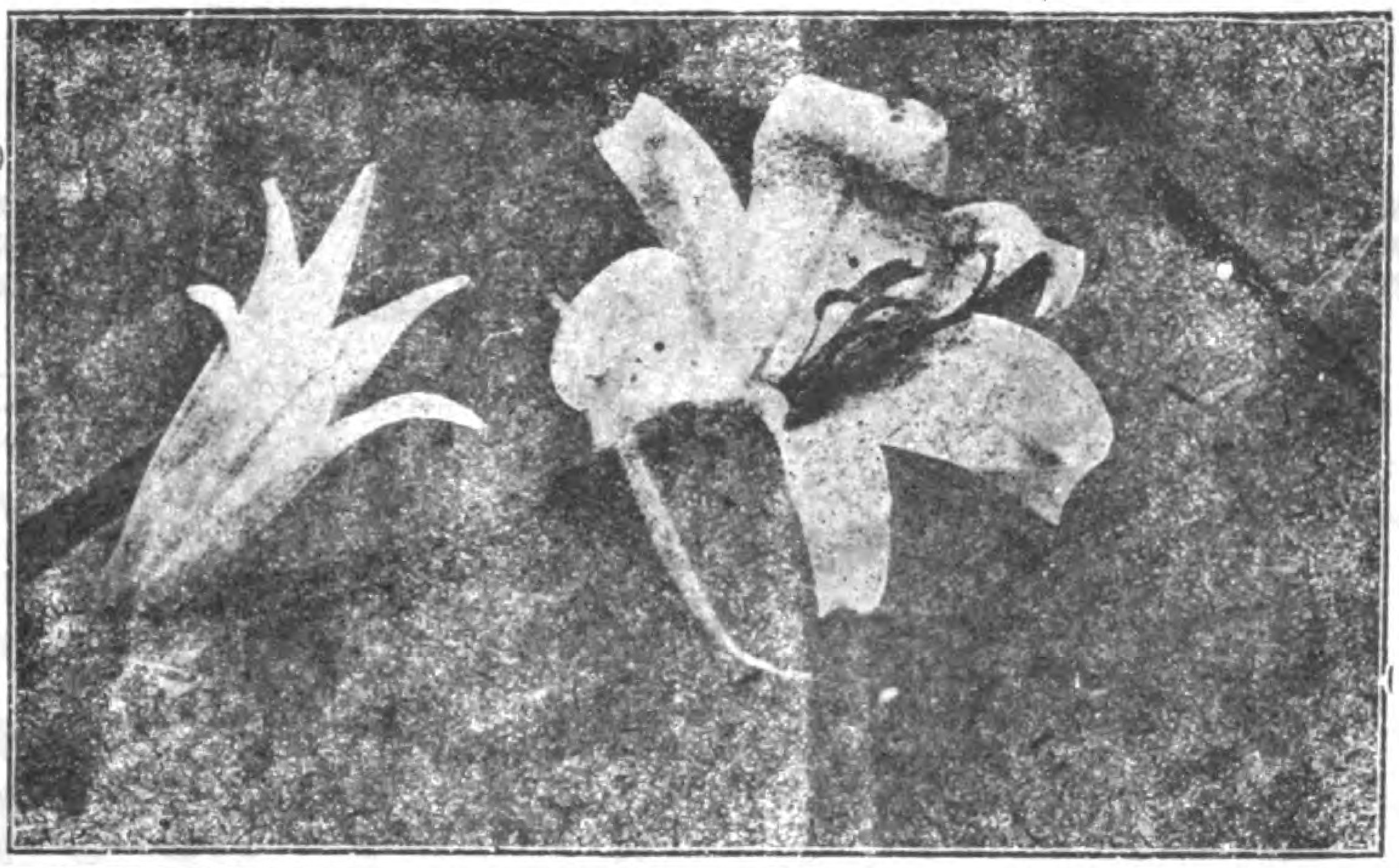
新しい時代に要する
新しい氣分は個中に在り！

（定價壹箇金三拾六錢）

ライオン歯磨
ライオン石鹸
本舗 東京本所區外手町 小林富次郎
支店 大阪市南區博勞町二丁目
名古屋市鍛冶町四丁目

君が腦神經病は治る者と信ぜよ
島村博士證明
健腦丸
腦病
良藥
KENNOGWAN
而して……腦、神經病特效藥
健腦丸を用ゐよ!!!
健腦丸の
效果は世既に定評あり。
主効
□腦充血□耳鳴
□腦膜炎□頭痛
□神經痛□眩暈
□逆上症□健忘
□卒中□便秘
□中風□癲癇
四回分 金二拾錢
半週分 金四十錢
一週分 金七十錢
二週分 金一圓卅錢
三週分 金一圓八拾錢
五週分 金二圓八十錢
拾週分 金五圓
特長
▲健腦丸を少量宛常用せば、逆上を引下げ、便通をよくし、恐る可ぎ腦充血を快治し、中風卒中を未發に防ぎ、記憶力の増進を促す特效あり。
大阪 東京
本舖 丹平商會藥房

廓清
THE PURITY
大正六年六月
第七卷第六號



廓清時言

嗚呼此の國辱を如何

日本の在外醜業婦に對して、吾人が其取締の必要を論じたるは既に幾回なるを知らざれども、内に公然賣淫を認許して憚るなき政府と國民は、外に同胞姉妹の桎梏に悶え凌辱に泣き、望郷の涙乾きあえざるを怪しまず國家の體面の汚瀆せらるゝを意とせざりしが、頃日一外國婦人が我が在外賤業婦の妄狀を愬ふるに及びて、聊か問題となり得たるやの觀あり。

彼女の語る處を聞くに、邦人醜業婦の甚しき跋扈は、やがて我國同性婦人全體に對する輕侮となり、之を國民道德の低劣に歸して、排日の氣勢南洋瘴蠻の地にすら磅礴たり、と。

外國人によりて我國人の醜狀を指摘せらるゝが如きは、抑も堪へ難きの苦痛也。況んや我が醜業婦は既に昨英領諸島に逐はれ、今西比利亞の野に逐はる、到處隨地其の國民に侮辱せられ、其政府に慊忌せられて遂に放逐の國辱を見つゝあるに拘らず、我國家は尙ほ平然何等の措置を執らんとするなきは言語同斷の事也。吾人は内地に於ける密航の取締を以て必ずしも寛に失すとなさゞれども、少くとも領事館の活動は決して彼等の掃蕩を至難とすべからず。當局者は宜敷發見次第送還所罰の道に出でん事を望む。

教へられざるの民

玆に在外醜業婦問題に關聯して看過すべからざる一事あり、

彼の外國人の語る處を聞くに、南洋に於ける賣笑婦は元より我國人に限るに非ずして諸文明國の民も少しとせず。されど未だ邦人のそれの如くしかく多く且つ無羞なるはあらず、例せば各外人醜業婦は皆其の國籍を詐つて實をせず、然るに日本醜業婦のみは恬として兩陛下の尊影を掲げて其下に賤業を營み、東郷乃木等の名將と國籍を同うするを誇るといふ。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

　賣春婦をなすが如き喪失せられたる道德心に於て尙且つ此の心あるは眞に殊勝の事也。我が國人は元より愛國の至誠に於て西人に劣る者にあらず、而も其等しき愛國心の發現が如上の矛盾を生みて、一は國籍を秘し一は逆しまに之を誇る。誇る者は却て國を辱しむるを知らざる也。嗚呼武士道と賣女の國よ、汝は賣淫の耻づ可きを知らず、國の愛すべきを知つて愛するの道を知らざる也。敎へられざるの民や憫れむべく、國を愛すべきを知り之を愛するの道を知らざる國は、夫殆哉。

文相の女子教育觀

　文部大臣岡田良平氏は過日往訪の大阪每日新聞記者に答へ

「一般女子の敎育は高等女學校程度にて滿足してよい。何故なれば餘り學校に居ては子女の生產力を減ずる虞れがある。然し尙現時の高等女學校以上のものを設くるならば、女子が良妻賢母としての任務を果すに必要な智能を補ふ目的で高等普通敎育の機關たるべきものを選ばねばならぬ。女子の爲めに專門職業學校といふ樣な特種の學校を私設するはよいが、官設にすることは不可能である。」

と語られたりといふ。惟ふに婦人問題中にありて敎育の開放の如きは其最も初步に屬す、然るに文相の談話を通讀して吾人は三個の問題に逢着せざるを得ざりき。

　第一は卽ち女子の高等敎育を拒否する因陋の態度にして、歐米に於ける女子の高等敎育が如何に人類を益したるかを思はざる迂見眞に悲しむに堪えたり。第二に吾人の遺憾とするは女子普通敎育の程度也。試みに見よ日々新聞紙上に表はるゝ新郞新婦なるものを。男子が某大學乃至專門學校卒業の秀才なりといふに對し、女子は常に××高女出身の才媛なりとあり、其才媛や憫れむべし中學三年の學力程度を出でず、男子の三十歲前後なるに比し女子は二十歲前後にして婚するが故に、智識經驗に於て甚しき差あり、常に男子の侶伴たるを得ずして無邪氣なる玩具として愛せらるゝ亦免れ難きの數也。一國の文敎を綜ぶる者如斯を以て滿足すとなす。婦人の爲めのみならず男子の不幸に非ずして何ぞや。

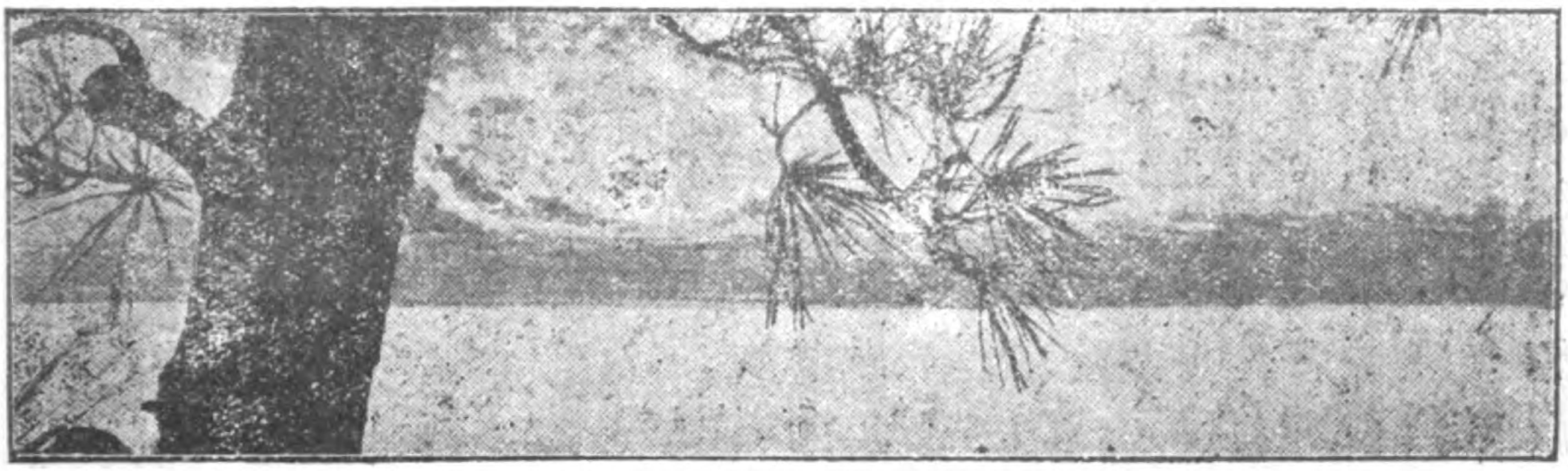
　第三に痛感したるは所謂囚はれたる良妻賢母の理想也。女子の良妻賢母たらん事は元より望ましき事なれど、之を以て女子敎育の根本方針となすは誤れり、女子の敎育も亦男子同樣人格の完成にあらざる可からず、男子に良夫賢父なる語なきは抑々如何ぞや、良妻賢母はたゞ人格主義の枝にして始めて開かん。

自分に對する罪

　西洋文明に接觸して得たる最も大なる收獲の何物なるかを問はゞ、吾人は『自分に對する道德を敎へられたる事』其一也と答ふるに躊躇せざる可し。古來我國に於て敎へられたる一切の道德は、凡て之れ他人に對する道德にして、自分自らに對する眞率峻嚴なる道德はあらず、從つて過去の道德は强者の弱者に課したる道德に墮し、弱者の强者に對する適存の道に過ぎず、妻の道德子の道德嫁の道德はあれど、夫の道德親の道德姑の道德は行はれざる也。

　然れども道德の基礎は他人に對する自己の行爲を規範するものとなすよりも、根本的に自己の人格的價値に基かざる可らず、玆に於て道德は始めて因襲的より自覺的に、僞善より眞善に入らん、婦人問題と云ひ勞働問題といふと雖も、根底に此の自己に對する道德に徹底し、人格主義の上に導かるゝに非ずんば眞の和平幸福は望むべからず、彼のイブセンのノラが家出に對して同情し得る者に非ずんば以て此等の問題を語るべからず。ノラは將來に於て愛と責任の爲に或は再び歸り來らん、而も一度自己に對する道德に目覺めて、己れを殺し己れを欺く道德羈絆を罷脫するの過程を排すべからざる也

　過去の道德は實に犧牲の道德なりき、犧牲は人間の美德なりと雖も、人格主義を通過したる犧牲、卽ち一度び家出したる後の犧牲(離婚奬勵の意に非ず精神的過程)に非ざれば匹夫の犬死のみ。彼の良妻賢母も、忠も孝も、貞操も、之に立脚する事なくんば何の尊敬かあらん。何の價値かあらん。(江南)



人生の理想化

早稲田大學教授
郷済會副會長　安部磯雄

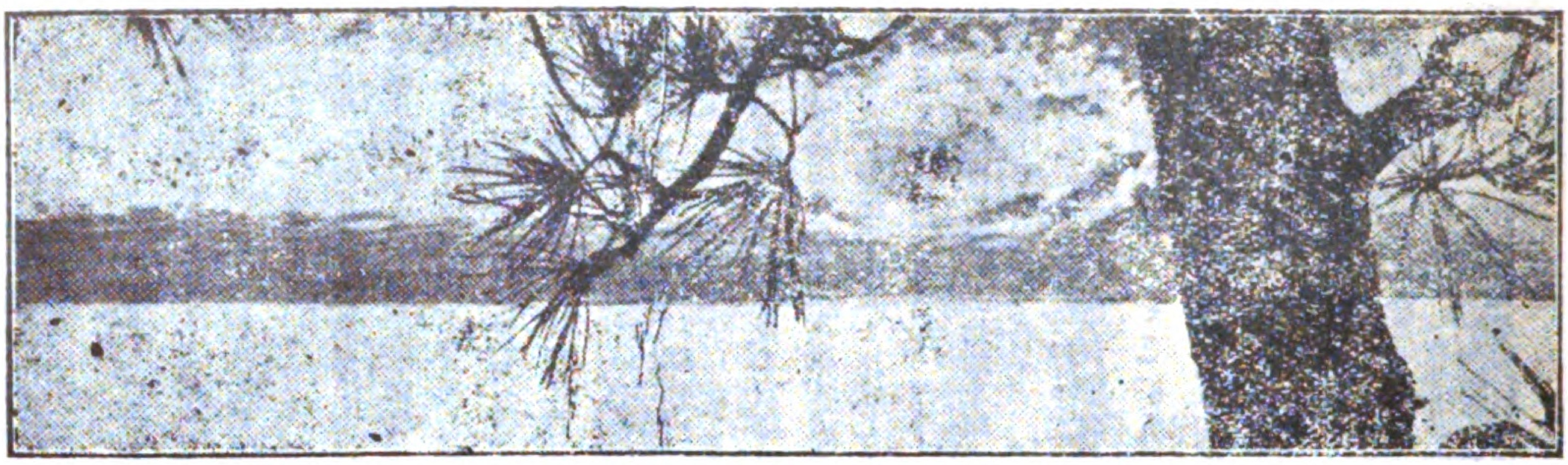
□體育は實に文化の源泉なり

過日オリンピックの各選手を大隈侯の邸へ招待した時、侯の演説の中に、『今日のオリンピックの起源は希臘のオリンピア、ゲームから發したのである。之はオリンプス山にある十二大神合祭の大典の餘興であつて、此の大典は四年目毎に一回催されたのである。斯して體育武術を奬勵した希臘の文明は美術となつて千古に光を放つて居るが、當時隆盛を極めたスパルタは智と勇とを以て人生修養の基礎として居つた。東洋に在つては智仁勇と稱し、仁は即ち道徳となり人生の美を產んだ。歐洲の智勇は美と融和して藝術となり、美術となつた。希臘の彫刻を見よ、彼の隆々たる筋肉四肢の發達は男性美の極致を表徴して居る。此の男性美の發現は軈てスパルタの武勇と化つて、古代希臘の精華として歴史上に不滅の光を輝かした』云々とある。體育の奬勵と人類の進化とは無論密接な關係を有して居るが、人生を理想化する大なる精神が此處にも潜むで居つて、常に其の精神を發揚するものである哲學と云ひ、美術と云ひ、政治外交も即ち此の精神に基いて進化發達するのであつて、軈て國家の發展、民族膨脹乃至は人類の進化にまでも及ぶのである。體育は所謂文化の源泉であるとまで云ふことが出來る。

近來吾美術界に於ても、彫刻、裸體畫の如きものは世の趨勢に促されて盛に流行して居るが、希臘の夫れの如く必ずしも美と融和したものでない、例へば婦人をモデルとして描ける裸體畫の如きものにしても、足部の短くして水氣の多い皮膚は美と調和する藝術のモデルとしては少々情ない感がある。是れ我が日本人の體育の奬勵に重きを置かぬ證左であつて、一は我が藝術界の不振の一原因であらうと思ふ。

□精神生活は人生の眞道なり

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY



元來人類は藝術に於ても文學に於ても政治宗教等、凡らゆる點に於て、自分の性格を顯すのに醜を美と化して成るべく裝飾を施して之を他人に見せると云ふ傾向がある。此の點が他の動物と異つて居る處で、軈て之は生存競爭の源泉と爲るものである。而して之れが人類の自然界の征服の企劃となり文明の域に到達して新生命の凱歌を奏するに至るのである。

然し世間には自然主義者など云ふ者があつて、人間は自然の產むだ兒であるから自然の儘に生きて可成裸體生活をせよ、日光浴と爲せ、浴は溫浴よりも冷浴が好いと云つた樣なことを云ふ。若し彼等の云ふが如く人間は自然の支配する處に依つて生きなければならぬものなれば、變化も進化もなく文明の風に當ると云ふことが殆ど無い位である。加之吾人の食物の攝取排泄のとき、又は性慾の滿足を計るときに醜體を曝露せなければならぬ始末になるのである。如何に彼等が騷いでも、如何に宗教家道學者先生が藻搔いても人類は物質を離れて生活は出來ない。勿論人類は肉體を有して居る以上は空腹を感ずれば食物を攝取せなければならぬ。不攝生のことをすれば直ちに病魔に侵されると云つた工合に人間は絕對に物質界に超然たることは不可能である。既に衣食住と云へば物質である。人間は是れを得るに實に慘憺なる歷史を繰り返して居るのである。或は親は子を殺し子は親を刺すが如き慘劇も往々演ぜらるるのであるが、之は生活の不安定卽ち衣食住の缺陷に起因することが多い。大にしては一國の革命、少にしては一家の平和の攪亂は之れ皆人慾を充す物質の缺陷より來ることは、更に贅言を要するまでもないことである。然し人類は聚合群集して單に物質にのみ憧がれて秩序なく平和なくして生活を營み、弱肉强食の狀態なれば他の動物と同樣な慘憺たる苦痛を經驗せねばならぬ。恁うした動物的存在は人類の天性を破壞し向上發展を阻碍して人類の福利は之を望むことが出來ない。然し人間の天性及眞の生命は、穀物の種子の如く其の生活の中に貯へられて居るのである。此の種子の發育を助けて實を結ばしむるに至る永遠不滅のものがある。是れ吾人の『靈』である、世俗的一時的な物質に更ふるに、此の靈を以てする精神生活は人間の眞道でなければならぬ。人は此道に沿うて旅行し而して此の自己の精神を以て物質を征服する位の力がなければならぬ。骨肉相食み兄弟其の血を啜るを少しも意に介さぬ濠洲の土人や、野蠻人の間に見るが如き、現代人の生活は餘りに物質生活に憧憬して精神生活を味はないものである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

□動物的生活は人類を滅す

マダカスカル島の土人は自分の生活の安定を計り、生存慾の充實を計る爲に、三月四月の候に生れたる子は悉く之を捨て、或は殺すと云ふのである。之は此の兩月に生れたる子は親の生命を縮むと云ふ迷信から愢うした殘忍なことをするのであるが、又ニユー、サウス、ウエルスに在りては、親の健康を計り、且つ其の後の安產を期せんには最初に生れたる子は親は之を喰ふと云ふのである。是れ等は無論最愛なる自分の子を犧牲にしてまでも自己の生活の安全を期し、生存を完うせんとするに出でたのであるが、かゝる殘忍な行は、狐狸豺狼の間にも之を見ることの出來ない露骨な行方である。

斯る野蠻な風習は文明の進步と共に其の跡を斷つべきである。文明國では斯る風習を想像することすらも戰慄の念を禁じ難き感がある。然れども歐米の文明國の中には彼等野蠻人の間に行はれてる殘忍な露骨の風習は依然として行はれてるのである。唯其の形式に於て異るのみであつて、內容實質に至りては毫も變らないのである。卽ち歐米の貴婦人は己が容色の衰へた爲に、社交界に於ける名聲の失墜せんことを惧れて滔々として避姙墮胎を行つて居ると云ふのである。之をアフリカ、濠洲の土人と比較して其處に幾何の差別があるであらうか。實に慘憺の極みと云はればならぬ。彼等は世上の競爭の結果、虛榮と物質に憧がれて、文明と云ふ假面の蔭に動物的享樂に欺かれて人生を浪費と飽滿と苦痛とに無意義な努力を續けて居るのである。

愢うした肉體的動物的の生活の法則が、人類の生活の上に長く續く時、そこに人類の滅亡を來すのである。吾人が動物的生存が空虛にして人生の最大幸福への努力でないことを知らなければならぬ。而して未來永劫限りなき生命を說いて亡び行く生存を確立せなければならぬ。徒らに慾望に驅られ唯是れ活んことをのみを冀はゞ必ず邪道に陷らざるを得ない、

□宗教は人生を理想化する

吾人は如何にしても最も大なる最も意義ある人生に活き、而して生を樂しみ得べきかと云へば、卽ち靈的生活を爲すにある。動物的生活に墮落して居る世人の多くは、單に活きんことをのみを希ひ如何にして最も大に而して永遠に活くべきかを知らざるの徒である。彼等の生活を解剖臺に上せてメスもて四分五裂にすれば眞に殺風景なものであらう。靈なき生活は恰も舊き革袋に新らしき酒を盛りたる場合の如くこかしこに破綻を生ずるのである。心なき人と雖も、曉の雲破れて日輪が姿を現はす時には歡喜の念禁じ難きものがある、妖雲に蔽はれてる多くの世人に靈的生活なる曉の太陽の美を浴びせ懸くれば必ずや隨喜の淚を流すであらう。

凡ゆる人の動物的人格の生存は無價値で、いくら外的狀態を能くするべく努力を傾けても、夫等の人生は幸福で善良であると考へられない。靈的生活は吾人を迷妄の中から解放し日々に向上せしめて光明ある眞の生活に還らしめる。

ルーテル十九歲の時に親友のアレキシスと共にマンスフエルトに兩親を訪ねての歸途アレキシスは、落雷の爲に仆れた、莫逆の友を失つたルーテルは、始めて人間の「死」と云ふ問題に面した。而して彼は思へらく、死は永遠其のものである。從來吾が學びつゝある法律學も軈て永遠の支配を受けねばならぬ、法律學は末である其の本を學ばなければならぬ」と、斯して彼は宗教界の人となつた。人は死するに方つて改悔するを常とす、是れ眞の生活に還つて人生を理想化したものである。宗教は人に改悔を强ゆる。而して人をして眞の生活に導き、力ある生の樂しみを與へるものである。

勞働階級の生活と其救治

貴族院議員 法學博士 山脇玄

■■家内工業時代より産業革命後の＝英國下層民の窮乏と獨逸の覆轍■■

上流社會の婦人が社會的に活動をするに至つたのは、家庭内に於る女子の仕事の大部分が産業革命其他社會的施設の完備につれ、漸く社會國家に移り、最早女子の手を煩さなくてもよい樣になつて、女子は家庭内で空しく安逸遊惰を貪る譯にも行かず、古來の關係から其跡を追ふて社會に出で其事業に携はる事となつたのであつて、生活難でも何でもない。

然るに下流社會にあつては之れと全く經路を異にし、夫の收入のみにては到底家計が立たず、妻子も共に働く可く餘儀なくされたのである。けれ共之れ元より近時突發の現象でなく、久しき以前からの事ではあるが、世の進歩に伴つて衣食住費が漸く騰貴するに及んで益々其度を高め、遂に今日の樣に生活難を叫ぶに至つたのである。

家内工業時代に於ては女子は未だ幾分か家政を執る事も出來たであらうが、英國に於て千七百六十四年以來紡績機械や蒸汽器械等の發明より、大規模の工場が雨後の筍の如く勃興するに伴れて、多數の男女職工を需要したのみならず、少年をも使役せねばならぬ盛運に向ひ、漸く營業主と勞働者の間に大なる懸隔が生ずる事となり、此所に彼の十九世紀に所謂階級鬪爭なるものが起るに至つた。而も古來勞働者は營業主と主從の關係に立ちしものが、立憲思想の發達と共に營業も己れの好む處を選擇し得る自由の身となつた、從つて其關係も一變して自由契約の關係となり、勞働者は男女を問はず營業主と任意に契約し得る地位に進んだけれども、元來莫大の資本を有する營業主と無資力の勞働者とが對立する關係であつて見れば、勢ひ前者に有利なる條件の下に於て、極めて不衞生的な工場で僅かに生活し得る勞銀に服從せねばならず、最も悲慘な境遇に陷らざるを得ざるに至つたのである。

獨逸に於ける大規模の機械工業は、英國よりか其の發達遲々たりしも、千八百六十年代に至つて漸く盛運に向ひつゝ千八百六十六年及び七十年の戰役を經て著しく擴大したるものなれば、英國の慘狀に鑑みて其の轍を履むの愚を避くべき筈なるに、やはり苛酷の作業と貧困とは勞働者の上に襲來して均しく悲境に陷らざるを得なかつた。

■■ミルの同情と我が國の婦女勞働＝母職と勞働とは容易に調和せず■■

斯かる狀態が、噴火の勢ひを以て益々强烈となるに至つたからは、學者政治家經濟家はいふに及ばず、大に世人の注意

を喚起する事となり、ジョンスチウワルト、ミルの如きは猛然として起ち滿腔の熱誠を以て心血を吐いてゐる。

「民衆の大多數がいつ迄現在悲慘の境遇に止まられればならぬのであらうか、彼等はたゞ必要缺く可からざる生活費を得る爲め、朝早くから夜遲く迄前途の光明もなく奴隸と均しく汗水垂らして汲々働かねばならぬ、斯かる事情の下にあつては、智識どころか德義も何もあつたものではない。自分自身に自給の道絕えてないのは當然である。敎育より大切なるは生活費問題である。生活費に逐はれて他の何物をも考慮する餘裕とてはなく、自然利己的になるのも止むを得ぬ。國民をして將又社會員としての利益や自信のあらう筈はない。自己の貧弱に引換へ、他人の富强を嫉む。胸の焰壓へ切れずして遂には社會の不公平を訴ふるに至るのも無理からぬ譯である。之等の慘狀にして、若しも永遠に持續するなら、吾人は思慮ある人士と共に何れの方面に向つて人世の改善を講ずべきや前途茫莫其歸趨を知るに由なし。」

と云つてゐる。我國勞働者階級の狀態は正に十九世紀の中葉の英獨等の慘狀によく似てゐる、而も男子の總數四十五萬二百九十八人に對し、女子の總數四十八萬四千六百九十八人にして女子は職工總數の約七割、纖維工業（生絲の如き）では八割、紡績では九割といふ他國に類例なき多數を占め、其內二十歲未滿の者過半數にして、殊に十四歲以下の者約一割に達す、實に我國程女子勞働階級が一國の生產に貢獻してゐる處はないけれども、內職と勞働とは容易に調和し難く、朝早く工場に赴き夕遲く勞れ果てゝ家に歸る女子にして其任務を竭さん事至難である。それに加へて工場に於ける勞働は女子の肉體機能を障害して往々懷姙出產を不能ならしめ、懷姙中の勞働は屢々流產を來し、母の生命をすら奪ふ事がある。幸にして出產するも生れ出た子は充分な哺育を得る事が出來ず上流社會に於ける一年未滿の初生兒の死亡百分の八に過ぎざるに下流社會の間にあつては百分の三十に達すといふ。英國に於て嘗て綿花恐慌の爲め紡績工場が休業せねばならぬ苦境に際して勞働社會は饑饉に襲はれ命且夕に迫まり乍ら、幼兒の死亡は却つて著しく減少したる事實は大に人心を動かし、母の工場勞働の幼兒に及ぼす影響の恐るべきを知らしめた。斯かる慘狀は其の程度に多少の差こそあれ、根本病源に至りては何れの國にあつても、略同一轍に出てゐるからは、其の救治手段に就ても又同一方策を執らねばならなかつた。

■■日本勞働者は收入最も少くして＝而も生活費は各國よりも高價也■■

果して然りとせば先づ下流社會に襲來する生活難の一大病源ともいふべき收入と生活費に就て、米、英、佛、獨と我國と對較比照して、次に救治策の一般を述べて見やうと思ふ。

○各國勞働者の收入比較

米國(年)	一、四〇九、七八〇円	(月)	一一七、四八〇円
英國(年)	一、一二一、七七〇	(月)	九三、四八〇
佛國(年)	九三三、三四〇	(月)	七七、七七〇
獨逸(年)	六六九、八四〇	(月)	五五、八二〇
日本(年)	二五二、〇〇〇	(月)	二一、〇〇〇

右の表につき日本の勞働者を各國のそれに比較すれば、獨逸の職工は我國の職工の二倍半强の勞銀を受け、佛國のそれは四倍弱、英國は四倍半、米國は實に五倍半の多額に當る。

○勞働者一ケ月の食費の支出

米國　九、五一〇円　佛國　六、五六〇円　獨逸　七、七八〇円

英國	七、七八〇	日本	三、〇〇〇

此表を見て直に念頭に浮ぶものは日本の一人分の三圓といふのは收入の割合に甚だ高過ぎる事である。英國に比較すれば彼の食費は我が二倍二分であるが、而も其收入は我四倍半であるから、日本の收入が少い割に多くの食費を要してゐるといふ事は、一目瞭然である、尙彼等の重要食料品の價を比較して見るも、彼の國は我國よりも安價である。

〇牛肉一磅(一斤)の價

米國	二〇〇＝七〇〇	獨逸	二二〇＝三八〇
英國	一八〇＝四四〇	日本	三五〇＝七〇〇

〇パン一斤の價

米國	〇六〇＝一〇〇	獨逸	〇三〇＝〇六〇
英國	〇四〇＝六〇〇	日本	〇七〇＝一〇〇

〇牛乳一合の價

米國	〇一六＝〇二五	獨逸	〇一三＝〇三二
英國	〇二〇＝〇二五	日本	〇三五＝〇五〇

〇鷄卵一ケの價（彼我大差なし）

米國	〇三〇＝〇五〇	獨逸	〇二五＝〇四五
英國	〇三〇＝〇八〇	日本	〇二五＝〇四五

〇砂糖一斤の價

米國	一〇〇＝一六〇	獨逸	一四〇＝一六〇
英國	〇六〇＝一〇〇	日本	一八〇＝二四〇

次に家賃につき比較して見ても、我國のは收入の少き割に高きに過ぎる。我が普通勞働者の家賃は最低一圓二十五錢、最高二圓五十錢である、然るに米國は勞働者が其住居に支拂ふ金は一ヶ月三圓六十二錢から五圓六十三錢位迄で、我國のそれに比して二倍半乃至三倍弱に當つてゐる。之も亦收入と比較すれば我國の方が高過ぎる、卽ち彼等は我が五倍半の收入を得て居り乍ら、家賃は二倍半乃至三倍弱にしか過ぎぬ。

■■國家的救治策としての工場法と■ ＝勞働保險、自覺的には職工組合■■

以上によりて我國の勞働者は諸文明國中の最も悲慘なる境遇にあるを知り得たが、然らば如何にして之を救治すべきかを說かんに、先づ國家的施設としての工場法がある。工場法は勞働時間を制限し、工場內の衞生的設備を取締るものにして、其の尤も完備せるは英國である。千八百二年に紡績業に於ける幼年勞働を保護するに始まり、漸次發達して千八百七十八年に完成したのである。其他の各國も續いて此法を設ける事となり、我國に於ても甚だ不完備なるにせよ、旣に實施せらるゝに至つた。

元來職工が他の救濟を要するに至つたのは、多く彼等が疾病又は不時の災難にかゝる場合である。之に對する方法としては、勞働保險の外はない。而も其保險は種々の方法にて行はれてゐるが、其內最も普通的で有効なるは國家が强制的にするもので、主に疾病、負傷、癈疾、養老、分娩、死亡、失業等に對して保險するのであるが、其掛金は雇主被保人相互に或る步合を以て保險し、老癈保險にあつては、國庫の補助もある。此法は千八百八十三年獨逸鐵血宰相が始めて創設し英國之に倣つて千九百十一年に創定し、尙ほ同國には養老年金法なるものがあつて都市に九百萬磅といふ大金を費し、又救貧院の設けもあるが、玆に出入する貧者の數は都市に二三

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

百萬人の間を上下してゐるといふ事であるから、誠に至れり盡せりと云つてよい。更に特に留意すべきは飲酒、不節制、不品行、喧嘩、爭鬪より生ずる疾病負傷に對して、手當金を與へぬ規定である故、職工は自然操行を謹む事になるといふ間接の功果もある事である。工場法や保險法は何れも他動的で、卽ち國家の權力を以て社會の生活難を救濟せんとするものであるが、其外に職工組合なるものがある。之は職工が他の力を借らず、自働的に自らの地位を向上發展せしめん爲め團結して、或は勞働時間の短縮、或は賃銀の高騰を營業主に向つて談判するに便利な機關としてゐるので、文明諸國何れも之が設備のない處はない。殊に彼等は同盟罷工や失業の場合に供ふる爲め、常に若干の會費を拂つて少からぬ積立金を持つてゐるから、一朝不景氣に際して失業する事があつても決して他の方法に賴る必要がないのである。

■■獨逸に於ける婦女救濟事業の完備
‖我國上流婦人の社會的任務は是■■

其の外勞働の爲めに種々な設備があるが、獨逸に於ける其の女子に關する主なるものを書き並べて見ると、各市町村に病者の救濟所を設けて病者の治療をなし、產婦の爲めに需要品の貸附をもなす事。貧民救助をなす事、職業がなくて困つてゐる人に働き口を見附けてやる事。外に出て働く事は出來ないが、家の中で內職をしたいといふ女子の爲めに、其の職口を世話する事。兒童預り所を設けて女工の兒童を預り其の手助けをなす事、自分で賄をしてゐる暇のない女子の爲めに賄所カツフエ飲所、スープ飲所を置く事。仕事を求めたい爲めに大都市に出て來る少壯女子を停車場に待受けて雇主に紹介してやる事、勞働女子の病院と休養所など圖り切れない程多數を設備する事、殊に孤兒の敎養をなし、不良少年の感化に努むる事、哺乳兒の養育所、流行眼病、結核疾の豫防策を講ずる事、諸種の敎育を施す事等。

又少壯女子慰安會なるものがある。之は獨身の女子で諸般の職業に從事する者の爲めに寄宿舍を設け、會長を置き一切の世話監督をなさしめ、入會した者は玆に泊まつたり慰められたり、色々相談に預つて貰つたり、丸で溫い家庭に住んでゐると同じ樣な安全な暮しが出來、而も此寄宿舍には適宜下婢寄宿舍を附屬せしめ、母親に劣らざる親切なる世話をなし職業の紹介をもなすのである。

更にまた大きな町には女子の爲めにクラブが設けてある。玆にはピヤノ、ミシン、語學、工藝、家政の智識を授ける設備が出來てゐる。其內で特に女工の爲めに設けたるものは、日曜午後四時からと其他の日は夜間此所に女工が來て慰安を求めたり談話したり敎養されたりするのである。

前述法律による保護の外敎養救濟事業になると、他にもそれ〴〵斯かる事業を經營する會合があるけれ共、其の大多數は獨逸の皇后を總裁に頂く愛國婦人會の擔任する處で、巨萬の資金を持ち、上流婦人が各部署を定めて熱心に從事される事なれば、實に用意周到、一點の非難する處がない。

翻つて我國に、救世軍の社會事業以外に見るべき慈善救濟事業を見ざるは甚だ遺憾で、上流婦人の社會的任務は實に此の點になくてはならぬ。(完)

海外醜業婦に就て日本の識者に訴ふ

萬國婦人矯風會
東洋派遣員　ストラウト女史

□批評をよく受ける人は進歩す

聴衆の方々に、お話する前にお願ひしたい事は、私は貴方がたの友人としてお話しをするのであると云ふ事を承知して頂きたい事であります。私は數年前に日本に參りまして萬國基督教婦人矯風會の事業の爲に働いたのでありますが、日本の御婦人方は實に高潔な方々である事を知つて居りましたが、此度ビルマの矯風會の爲に彼地に參りまして、親しく視察し實驗した所によりますと、彼地の人々は日本婦人の高潔なる眞價を知らない人が多いのであります。是は眞に殘念な事と思ひ、米國に歸る途中日本に參りまして、日本の方々に其事を訴へ、之を矯正したいと思ひ、又風景氣候の宜しき土地に幾日かを經過したいと思ひ、今日此集會を開いて頂いたのであります。私がハーバート大學に居りました時、一人の先生は何人に對しても常に批評ばかり致して、決して讃める事がありませんでしたが、私が其先生に向ひ『先生の樣に批評され非難される事ばかりで、決してお讃めになる事が少いと、私の樣な者は力が落ちるばかりであります。』と申しますと、先生は『批評を喜んで受ける人は強い人であり、又強くなる人である。』と答へられました。其から他より批評非難を聴く時は一時は眞につらい事で、時としては腹だゝしくなる事もありますが、其を忍耐してよく聴く人は偉い人であり、又偉くなるのであると申す事を信ずる樣になりました。其先生が又申さるゝには『總て學ばうと云ふ精神を以て人の批評を聴く時に進歩をなすのである。』と云はれました。唯批評を聴いて氣に障つた時には進歩は無かつたが、其を喜んで聴き其に由つて學ばんとする心を持つ時に進歩を見る事が出來るのであります。批評を聴いて向腹をたてる人は決して進歩は無いのであります。私の本國米國では、國内の人々は何事に就ても自由に批評しますが、之を皆快く受け、其に由つて改良進歩しつゝあるのであります。私の申す事もどうぞ其お積りでお聴き下さる事を願ひたひのであります。

□海外にある日本醜業婦を救へ

私はビルマに參りまして始めて醜業婦なる者を見ました。其までは人間が斯程までに墮落する者であるかを知りませんでしたが、之を實見するに及びて實に驚いたのであります。人間は人間とは云はれない、實に動物に近い處まで墮落する

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

事が出來るものであると云ふことを始めて知つたのであります。世の中にあんな厭な、人の前で到底話す事も出來ない、卑しい業を爲し、動物の樣に扱はれて居る哀れなる人があるとは思はれませんでした。人間の身體は造り主が尤も巧妙に造つて下すつた物である。其貴い身體を以て實に穢れたる、何とも云ふに云はれない行をなし、世にも恐ろしい病氣に罹り、知力を失ひ精神を鈍くし、己一人のみならず、其害毒を他人にまで擴めると云ふ事は、如何に人道に反する者であるか、之を見た時私は思はず戰慄せずには居られなかつたのであります。ビルマの醜業婦は下等動物の樣に、籠の樣な所に入れられて、男子の性慾の滿足を與ふるが爲に、弄ばれるのを待つて居るので、男子は其の中に自由に出入して之を汚し、又自ら汚れるばかりでなく、其に由つて恐ろしき病毒を他に傳播しつゝあるのであります。私は之を見て如何にも氣の毒な事に思ひ、彼地の婦人矯風會の方々と協議して、之を救ひたいと思ひ、經驗ある專門家を招いて種々研究し、五ヶ年間に亘りて色々施設したのであります。

□自ら進んで醜業婦たるはない

海外の醜業婦は勿論日本婦人ばかりではありません。種々なる國から來て居りますが、悲しい事には其大多數は日本婦人であります。是同統計が明かに示す所で、其數は印度洋の嶋をも合せて三萬三千人を下らないと云はれて居ります。此内に外國人もあるが、其數が少いので餘りに知られないが日本人は在留する婦人悉く醜業婦と云つた風でありますから非常に目にたち、日本婦人と云へば悉く醜業婦であると思はれるのも已むを得ない事であります。今是等の日本醜業婦人は如何にして醜業婦となつたか之を調べて見ますと、自ら好んで醜業婦になつた者は甚だ少い。大抵は甘言を以て日本から誘拐されて彼地に渡り、無理に醜業を營ませられ、遂に餘儀なくそんな汚れたる生活に陷つた者であります。私は彼地から日本に來る前に、日本では醜業婦を海外に送り出すには餘程六ケしい法律が設けられてあるに違ひないと思つて居りましたが、日本に參りまして調べて見ますと、左程嚴重な法律もないと云ふ事であります。故に惡い人があつて年頃の婦人を欺き、彼地に行けば非常な利益を得られる樣に言つて之を誘ひ出し、始めは船の中などに隱れて渡航する。勿論自身は何の業を營ませられるかも知らずに彼地に連れて行かれ、彼地に着くと、直に醜業を强ひらるゝのであります。始めの程に勿論之に應じなくとも、無理に强制せられて醜業を營む樣になり。段々之に慣れて遂には平然として汚れたる生活を送る樣になるのであります。時としては之に反し自ら進んで、湊から湊を渡り歩き醜業をなしつゝある人もありますが、そんな人は極めて少いのであります。

□墮落婦人を生ずる原因の其一

然しかう云ふ事は何が原因して社會の表面に現はれるかと申すに、第一は男女の貞操感念が誤つて居るから起るのと、第二は公娼制度が原因をなして居ると思ひます。私は男子と云ふ者は何時でも婦人を保護する者であり、又保護せねばな

らぬ者であると思つて居りましたが、實際を考へると中々さうはいかぬ。男子の中には他に保護する者のない婦人に對しては之を汚しても差支はないと思つて居る者があります。私は小供の時から男は女を保護する者で、如何なる時でも如何なる處でも義俠心を以て弱い婦人を助けて與れる者であると思つて居りましたが、世の中に出てから考へますと、決してさうばかりは考へられません。男が保護する女は其人の家族で、母とか姉妹とかで、他人の憐れなる保護なき人を見出した時には自分の性慾を滿す爲に之を汚しても、又どんな惡い所に其人を陷いれても差支ないと思つて居る者であると信ずる樣になりました。然し私は始め之を信ずることが困難でありました。どうして男子が斯く殘忍であると信ずることが出來ませう。然し此事に付ては世界中の人々が次第に目を覺して來て、男子も女子も同じ一つの貞操を守らなくてはならぬ。女は男が保護すべき者で、之を汚すのは男自ら汚れる者であると思ふ樣になり、婦人をして正しき眞直な道を歩ましめると同時に、男子も貞操を守つて淸き正しき道を歩まねばならぬ。つまり二人とも白い生涯、卽ち淸き生涯を送らねばならぬと云ふ事が叫ばれて來たのであります。殊に喜ばしいのは此感念に就て、婦人よりも男子の方々が氣付いて來た事であります。先日早稻田大學の學生諸君の中に、其大學附近にあつた如何はしい場所を取拂ふ爲に其筋に提出せられたと云はれる陳情書を私の許に送つて與れた人がありました。私が之を請取つた時は實に喜ばしかつた。此時より嬉しかつた事はありませんでした。

□公娼制度亦確かに其一因なり

海外醜業婦が出來る第二の原因は內地の公娼制度の爲であると思ひます。公娼制度なる者は一つ所にさう云ふ人々を集めて之に醜業を營ましめ、政府が公然之を許して置くのでありますから醜業は決して惡い者でない、恥づべき行でないと考ふる樣になつたのであります。或人が二ケ年かゝつて學者醫學者等の意見を取集め、醜業婦に關する研究をして居ります。其結果はまだ完了に至りませんが、公娼制度は確かに失敗と云ふことだけは得られました。其談によると、公娼制度は汚水を一所に溜めて置く樣な物で、其水から種々の黴菌や病毒が流出して他に浸染し、害毒を社會に播く樣な者でありますと申されました。又一方から考へますれば公娼制度は片方の性慾を充たすが爲に他の性を犧牲に供する事を政府が許すと云ふ樣に見えて不合理なる事は明かであります。ビルマの蘭貢でも始め公娼制度を行つて居ました。是は之に由つて私娼の害を防がんとしたのでありましたが、私共の調査した所によれて遊廓があれば其附近に醜業婦がなくなるとは云はれないのみならず、却つて反對に澤山の醜業婦が出來ることを發見致しました。一ケ所に公娼を置いたから他には醜業は行はれないであらうと安心して居るのが失敗であります。一つ惡い所があれば、其處の附近に尙多くの惡い所が出來るのであると申して、其事を蘭貢の政府に陳情して公娼の廢止を請願しました所が、幸にも之を容れ、官憲自らが調査員を置いて調査せしめた結果、私共の意見の正當なる事を知り、

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

公娼制度は今は無くなつたのであります。

□經濟問題は其最大なる原因

以上の二原因の外に最も大なる原因が今一つあります。其は經濟上の問題であります。かゝる醜業婦は實に氣の毒な者であると云つて、救濟會を拵へ『私の處にお出でなさい。あなた方を收容してあげる』と云つても中々來ないのであります。彼等は醜業に由つて金を得て居るのであります。唯自身一人收容せられても其で滿足は出來ないのであります。或婦人が此收容所に入る事を勸められた時『收容されたらどこで金を取りますか。金を取る途がなければ何で生活をなしますか』と云つて拒んだと云ふ事があります。故に此問題を解決するには婦人をして正しき職業に由つて生活を立てゝ往く事が出來る樣に教育する事が大切であると思ひます。單に教育を施したばかりでなく婦人の職業に對する報酬も之を多くすることを務めねばなりませぬ。現今の社會では婦人の働くべき範圍も漸々廣くなつて來ました。會社にも教育にも諸方面に働きつゝありますが、何故に會社に働く婦人でも教育に從事する婦人でも同じ職業に從事しつゝある男子の半分位の賃金より外得られないのでありませうか。已に職業を得るに困難なるに、働くべき職業があつても其に由つて得る所の賃金が以て自ら支ふるに足らざる程度では、婦人が其よりもよき賃金を得らるゝ醜業婦となるのは當然であります。故に婦人に職業を與ふると共に、其働きの成果を見認め、之に對する相當の賃金を支拂ふと云ふ事をするならば、婦人問題は解決せらるゝのであります。先[illegible]の家庭が負債を生じ之を完濟する事が出來なくなつた場合に、其娘に職業があつて、其收入に由つて負債を償還する事が出來るとせば、娘に醜業を營ませる必要はなくなります。私が或時蘭貢で醜業婦の居る所を通つた事があります。其所に年齡四十位の[illegible]人が居りました。此人は露國人で猶太種で、其容貌も優し[illegible]な風でありましたから、私は側に寄つて『貴孃は家庭に居て、可愛い娘や子供の養育をなすべきではありませんか。何故にこんな所に來て居りますか』と尋ねた所が、『さればであります。私には二人の子供と母があります。然し露國では婦人が二人の子と母を養ふに足るだけの收入を得る職業を求める事は困難でありますから、已むを得ず此處へ來てこんな厭な商賣をして居ります。然し如何なる時でも家に殘した子供の事や母の事を忘れた事はありません。毎晩夢にまで見て心配して居ります。私がかうして内はそれでも生活して往かれますが、若私が死にでもしたら彼等はどうするだらうと其を思へば心配でたまりません』と申されました。此等の例に由つて見ましても彼等の多くが生活問題を解決すれば醜業婦となる者は必ず非常に減少するであらうと思はれます。

□日本人は之をしも放任するか

日本が海外に醜業婦を多く出して居る結果はどうでありませうか。私はビルマに參りました時ビルマ人は日本人と云へば醜業婦より外見た事がない故に、日本人とは貞操の觀念のない、極めて下劣な人種であると思つて居りました。外の國

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

の婦人で醜業をなして居る人もありますのに日本人ばかりなぜさう思ふかと云ふに、外の國の人は醜業婦以外の立派な人が多く居りますから、彼等の中に墮落した者ばかりが悪い行をするので、人種としては高尚であると考へて居るが、日本人は醜業婦と之に關聯する人ばかりを見て居て、外の者を見ないから、日本人は皆斯くの如き者と誤解するのは無理もない事であります。然し私は前に日本に來て立派な方々とも御交際をして居りましたから、醜業婦が日本人を代表して居る樣になつて居るのを見て非常に悲しい事に思ひました。故に此問題は醜業婦其人の問題でなく、日本國民全體の權威に關する問題であると思ひます。彼等醜業婦が海外に居て日本の名譽を汚しつゝある事に就ては、日本國民は當然責任を持たねばなりません。私が日本に來て非常に感じた事は、日本人の愛國心に富みて居る事であります。國家の爲と云へば平生の敵も味方も打忘れて、協同一致國の爲に奔走して居ります然るに醜業婦は其貴い國民性を腐敗せしめつゝあり、名譽を破壞しつゝあるのであります。愛國心の強い日本人は之を此儘放任して置かれますか。日本人は偉大なる國民であり、美しい將來を持つて居らるゝ國民であります。是は單り私共が申すばかりではありません。世界の國民が等しく見認めて居る所であります。併し其偉いと云ふ所はどの點にあるのでありませうか。決して金力が餘りあるかと云ふ譯でもなく、兵力が完備して居ると云ふ譯でもない。全く自ら強くなると云ふ所に將來の偉大なる所があるのであります。強い正しい國民となり、全世界に模範を示す樣にならねばなりません。

然るに海外の日本醜業婦は之を破壞しつゝあるのであります愛國心の強い事を以て萬國に冠絕して居る日本國民諸君は之を何とかせなければなりますない。それとも其を放任して置きますか。貴方がたはどの位日本國を愛して居られますか。かゝる汚れたる者を直ちに廢して終つて、日本人は強い正しい偉大なる國民であると云ふ事を世界に示すのは國家を愛する所以ではありますまいか。貴方がたは全國民を覺醒せしめ之を教育し、法律を設けてまでも此の國民の一大汚辱たる醜業婦を全廢せしむる程國を愛して居られますか。私は其れ以上に諸君は國家を愛して居らるゝと信じて居ります。

今西洋諸國は大戰爭を爲して居ります。幾萬と云ふ人が每日戰場で仆れ、幾萬の婦人が日に〳〵悲慘な狀態に陷りつゝあるのであります。戰爭の慘禍は實に恐るべきでありますが之に由つて私共は、何を學ばうと致しますか。彼等の覆轍を踏んで再び戰爭の慘禍に陷いらぬ樣に國を導く樣に諸君は國を愛して居られますか。戰爭の終了後には聯合各國も獨墺側も自ら眼が覺めて、清い國民となるであらうと思ひますが日本國民は其程戰爭の慘禍を嘗めずして、其と同じなる教訓を受くる事が出來たならば、眞に結構な事であると信じます今日私共の學ぶ所は本統に力ある國は最後の勝利を得る事が出來るのである。そして強い國とは國民の強い國の事であります。一人々々が強い身體を持つて、道德の高い、精神の確乎たる人となれば卽ち強い國民となるのであります。私は醜業婦問題に付ても日本國民諸君は必ず其強い事正しい事を世界に示すのであらうと信じます。(六年五月廿五日廓清會演說會にて)

我が國民性と其生活

前慶應大學教授 向軍治

□日本文明の衰退のドン底

今より百年前に佛蘭西人は「何んな國民でも國民相應な性を持つて居る」と謂つたが實に名言である。佛蘭西人の謂へるが如く、世界の各國民は皆同一の國民性を帶びて居ない、英國には英國の特有の國民性があり、佛國には亦相應な國民性を帶びて居る。露國に於ても、獨逸に於ても、米國に於ても各自夫れ相應な色彩を有した國民性を持つて居る。私は今度の總選擧に、政治運動に携つて、一層我が國民性と其生活程度を知ることが出來て、我が國の前途に思を抱くとき、日本文明の衰退の、機運が著しく醞釀して居ると云ふことを觀察したのである。日本現下の國民性と生活の程度より帝國の前途に付て思を馳するとき、我國家は茲三十年の内に滅亡に瀕することを豫言し得るのである。

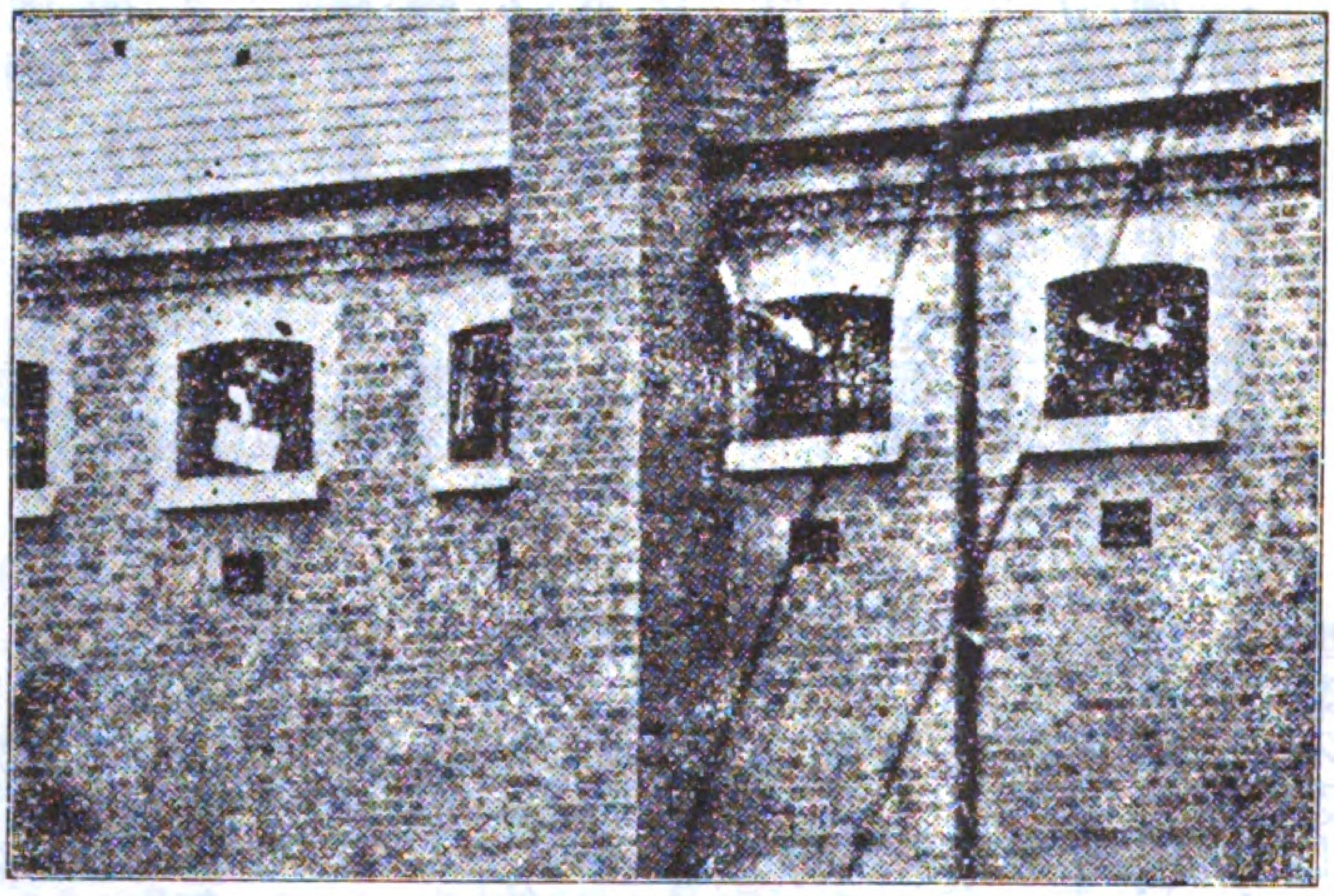
世人は試みに橫濱の西洋人の居留地と、日本人の住家とを山手より一瞥せんか、一幅の人世の縮圖は直ちに吾人の直觀に突入して思ひ半ばに過ぐるもがあるであらう。日本人の生活は宛ら穢多村の廓内に穢多が寄り集つて其の陋俗を發揮して、尚息まざるの感があるのである。人世の高處より達觀する時に、我國は、明治初年以來徒らに物質文明の吸收に努めた極端なる歐化主義の產める結果を知り得るのである。我が日本人は佛造つて魂入れざるの愚擧を敢て演じ國運衰微の潮流に得々として游泳し、密雲漸く重疊として風波濤を捲かんとするを知らざる、其の無自覺と無神經質に呆されざるを得ない、而して此の滔々たる日本文明衰退の濁流の漲るに至りたるは明治二十二三年以後で、既に今日では日本文明爛熟癈頽のドン底に墮してゐる。

□文政の方針と國運の衰退

明治維新の開國進取の機運は新らしい生命を背景にした革命である。當時は一も二も歐米の模倣に日も尙之れ足らざるの傾向がある樣に觀らるゝけれども、深く其の根柢に潜む精神を窺へば今日の國民性と雲泥の差異のあることは明である卽ち吾等は神國の男兒である。日本の特有なる國民性を毀損せない範圍内に於て、彼の長所を以て我の短所を補ひ、宜しく融合と調和を計り國家百年の計畫を樹てゝ健全なる理想の

帝國を建設すと云ふ、希望と理想の赫々たる光明は前途を輝かして其渇望を醫する爲め、新らしい泉に憧がれて新生命を鼓吹したのである。故に當時の文明の精神は外部に於ては物質的文明の吸收に努め、內部に於ては能く精神的訓練を怠らないで、此の兩者の權衡を持して國運の進捗を謀るに自彊不息の意氣込を持つて進まれたと云ふことは當時の我が國民性であつた。如何に華々しく而も客氣あつたかは茲に詳說するまでもなく、過去の歷史に依つて推し考へらるゝのである。

然れども明治二十年以後の文部當局の文政の方針は　悉く國民の進路を誤らしめた。國民を一の型に當箝めて理想も自由も抹消せしめ、人間の活動力を奪ひ去つて國民を機械の如く仕上げたのである。此の責任の大部分は星亨と、井上毅の兩人が負はなければならぬ。彼等は歷代の文相中最も傑出したる技倆と才能を具備した天晴な人物であるが、惜い哉星に於ては餘り放埒過ぎて或は誠意のある處を疑はざるを得なかつた場合がある。例へば何等教育上に意見も抱負もなき門外漢の警部輩を拉し來つて學校長に赴任せしめて、其の學風と秩序との攪亂の因を釀したるが如く、又彼井上にあつては、人物を觀るの聰明を缺いて適所に適材を置かざるのみか、悉く彼の文政の方針は獨斷主義であつた。此の卓絕せる兩人の材能は靈妙な意識を有する人間を飴細工の如くコネ廻はしたと云ふ其の手腕は實に大したものであるが、彼等兩人の文教上の方針の餘脈は今尚殘骸となつて文教の骨子となつて居る若し彼等が此の卓絕せる才能と、手腕とを善用せられたならば今日の如く悲哀と不安の危惧の念を抱かず、國民を墮落の淵に沈溺せしめずして圓滿なる國民性の發達を圖られたかも知れない、一國の文政の方針は國民性及其の生活と至大の關係を有することは吾人の昔く知悉する處、今更絮說を要せぬのであるが今尚當局は多年の積弊を顧みず從來の秕政の轍を踏むで覺醒することを知らざるは何たる迂愚なことであらう。彼等は世界の大勢と時代精神に着眼して、國民思想の歸趨に鑑みて眞に時代の要求する徹底せる主義政策を樹つる抱負あるかを反問せなければならぬ。既に世人は言ひ盡してるが如く、彼等は元老の鼻息を窺ふて自己の地位の確保を圖るにあらざれば、自我の權勢の爲の主義方針である。井上侯の存命中老耄したる山縣公は能く彼を訪問した。それは帝大の教授達は毛色の變つた新らしい理論や學問の研究を初めると直に干渉するの相談であつたとのことであつた。元來學問の研究は自由でなければならぬ。科學の研究を自由にして社會の秩序を攪亂して累を


婦人参政權運動者獄中に於ける合圖（一九〇九年七月）

國體に及ぼし皇室の尊嚴を傷けたと云ふことは、絕對に其の例を見ないのである。萬世一系の皇統は我國統治權の總攬者に坐し最終最高の意思の決定者に坐すことは萬世不易の事實であつて、憲法の制定と共に定つたことでない。日本帝國の國民の活動及生活は皇室を中心とした團欒であつて皇室と國民は永久に離れることの出來ない絕對的のものである。此の信念を以て如何なる思想學問を研究するも差支はない。秦の始皇帝の如く學者の研究に干涉を加へ、思想の自由を拘束するに至つては國運の隆昌と、國民性の發達を害するとは歷史の證する處である。自ら秦の始皇帝の轍を踏み國家の進運を誤らしめむとする當局の方針に付て一々論駁する繁を避くと雖、斷じて輕々の問題にあらず國家の盛衰興廢に關する問題であるから當局の覺醒を促さなくてはならぬ。

□政治と國民生活の關係

政治は國民生活の上に直接の影響を及ぼすもので、立憲國民としては少くとも政治の何たるやに付ては、相應な見識と素養を備へて居なければならぬ。之れは立憲國民として一般の智德の敎養と相待つて必要な所以で、國民の政治的自覺の缺陷は、軈て國民生活の缺陷を來し永久に國民は苦痛と不安の羈絆より脫することが出來ない。

元來立憲政治の確立は國民の權利と自由の確保にあるのであつて一國の革命を豫防せんが爲である。如何なる政體に於ても政治家の指導を誤り、又は國民の生活上に不安と苦痛は漲つて居れば何れの時と所とを問はず、革命騷動を起す因となつて居る。佛國、露西亞、葡國、支那等皆然りである。日本の君主政體をして有終の美を濟さしめ、萬世一系の皇統を國民全體永久に仰がむとするには立憲的敎育を普及せしめ。國民に國民の政治に對する責任を知らしめなければならぬ。之れは立憲國民としての生活の要件である。然るに當局は學生の政治の研究に干涉し、政治思想の發表を拘束するに至つては全く國民を無自覺に陷らしめ、立憲國民としての資格を剝奪するものである。現今當局の施政は國民をして暗中模索の一杖に縋がらしめ、一醉一夢の薄明郷に逍遙はしめて居る。從つて理想と自覺を失つた吾が國民性や生活は全く穢多村の象徵である。彼の猶太人や印度人の如く過去の歡樂の文明が國民に刺戟を與へる力なく、却て國を亡ぼしたるが如きは明かに其の國民性の惰弱を語つたもので、國民の理想や自覺と云ふことは一國の文明の上に如何に華々しい色彩を放つかと云ふことは明である。

□是新興帝國の現狀乎

日本文明の現狀は全く、印度や猶太の文明の如く、譬へば砂漠を行く感がある。何物も吾人の眼界を遮るものがなく、何物も人の興味を惹物はない、從つて我等を刺戟する人物、言論事業の乏しいとは云ふまでもない。日本の文明は全く平凡さ單調で之は取も直さず亡び行く亡國的兆候である。見よ、敎育は天才を殺しつゝあるのではないか政治は俗惡主義に化して居ないか、宗敎は天上より地下に落ち文學は少年輩の愚痴以上に出ない。是れを之新興帝國の現狀と做さんは聊か心細い。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

浄瑠璃の男女道徳

一條忠衛

十、小春治兵衛天網島（茶屋の段、紙屋の段）

小春治兵衛は近松の傑作と云はれる有名な天の網島の女主人公と主人公である。おさんと云ふ妻があつて、勘太郎お末といふ六つと四つになる子の親である紙屋治兵衛と云ふ三十男が、曾根崎の遊里に通ひ、小春と云ふ女郎に魂を打ち込んで馴染を重ねて居る、はては二人の間に心中の相談が出來たと云ふのを兄の粉屋孫右衛門が聞いて棄て置きならず、遂に一策を案じて頭巾を眼深にかぶり大小を腰にぼつこみ、藏屋敷の役人に扮して侍に化け、曾根崎の茶屋に行つて小春を買ふ。小春に向つて心中の親不孝な次第を說き、武士の役として見殺しには出來ず、侍の冥理と他言しないから心底殘らず打明けろと同情を以て迫ると、小春はすつかり打ち明けて了ひ、男の口車に血狂ふたことを今更のやうに後悔する。それを格子の外に立聞いて居た治兵衛は心も關々に關の孫六一尺七寸抜き放つて、小春の肋つ腹を目蒐して格子越にぐつと突く。座が遠かつたので小春に怪我はなく、侍は透さず飛びかゝつて兩手を摑み、狼藉者と格子の柱にがんじがらみにくゝり附けて奧に入る、そこへ太兵衛と云ふ金貸が後を附けて來て治兵衛に強談する。打つたり蹴たりして催促する。そこへ件の侍が馳けて來て太兵衛を蹴飛ばし、懷から二十兩を出して顔に擲き附け、突き仆して追ひ出す。それから侍は治兵衛の縛り目をとき己が頭巾を取り捨てると、兄であつたので治兵衛は驚いて逃げようとする。それを引つとらへて引き据ゑれば、治兵衛は疊に坐つて泣伏する。小春も驚いて馳け附ける。孫右衛門はそれから懇々と弟に說諭する。妻子が心配して居ることやら、母親が心配して居ることやら、親類に對して面目のないことやら、男をたらすは遊女の習であることやらを說く。小春は兄の異見や母親の心配を思ひやり、皆な御道理であるとばかりで涙にくれて居る、治兵衛は涙を押しぬぐひ、後悔千萬して兄に謝り、小春を瞰んで惡口雜言する。二人は互に思ひ切り今迄取りかはした手紙起請を返し合つて火に燃して了ふ。兄は弟を連れて家に歸る。これ迄が茶屋の段として近松が書いた第一齣である。

□　□　□　□

妻子のある身で放蕩すると云ふことは今も昔も變らぬ事であるが、これは夫婦の間に眞正な戀愛の無い結果である。妻子を捨てゝ遊里に寢起し、女郎に狂つて心中まで、決するに至つた性的慾望を解剖して見れば、妻に對する性的慾望の滿足を缺いて居る結果である。そして其の滿足を缺いて居るのは、夫婦の性慾が戀愛と云ふ道徳的愛情に理想化されて居ない結果である。夫婦の愛に於て性慾が理想化されて居れば、靈肉に於て己が愛人を裏切ることが絶對に出來ない自我の規範的要求がある筈である。然るに治兵衛にはこれが無かつた。その無かつたのは治兵衛夫婦の愛情に大なる缺陷のあつた爲めである。近松の書いた文面だけでは其の缺陷を指摘して居ないが、これを道徳上より想像し修補して見れば、色々な缺點が續出して來る、先づおさんと治兵衛との夫婦關係は、お染久松や三勝半七のやうに男女の個人道徳に成立したのでは無く、當時の家族制度に於ける親族結婚から成立したのである。親族が寄り集まつて成し就げた婿養子の結婚である。姑と云ふのは治兵衛の伯母であり、妻のおさんは治兵衛の從妹に當つて居る。從

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

兄同志の結婚は能くないと生物學や醫學では云ふが、それも戀愛からであるならば幾らか學理を緩和して居るから宜いとしても、治兵衞等夫婦にはこの緩和すら無かつた。これに對して兄の孫右衞門は舅は姉婿であり、姑は伯母であるから親同然であるとか、おさんは從妹であるから兄同然であるとか、一家一門緣者同志であるとか云ふ道具立をもつて弟を責める。悌と云ふ兄弟の道から推せば、弟の放蕩を兄が異見するは素より權利であり義務であるから、兄の愛情は幾重にも感謝せねばならぬが、唯だ家族道德を繩墨として家族的義理から弟の夫婦關係を押し附けることは誤つて居る。勿論これは當時の道德であるからそれで善かつたとしても、今日この方法を因襲して弟妹に異見しようとする兄があつたならば沒理の甚だしい者である。殊に孝と云ふ德川時代の道德にして絕對權を有して居た道德を振り廻はしたり、先祖の位碑を鼻つ端に突き附けたりして、兄が弟妹の夫婦關係を、作らうなどとするならば、實に專橫武斷極まるものである。兄として弟を訓誨する孫右衞門の異見は五臟を絞つて出るのであるが、道德的事實に對して問題を解決するに理性批判を缺いて居る當時の世俗道德觀に基くのであるが爲に、實際の效果が無いのである。單に孝悌の道に對して弟を頓首平伏させ、專制的に武斷的に家に連れ歸つたに過ぎはしまいか。この想像は紙屋の段に至つて明かに事實になつて現はれて來る。

□　□　□　□

治兵衞はまだ曾根崎を忘れて居ない。三年のあひだ露ほども悋氣したことの無いと云ふ妻のおさんも呆れて、顏をつくづくと打守り〳〵心の限りくどき立てゝ恨み泣きをする。「エヽあまりじやぞへ治兵衞さん、それ程名ごりが惜しいなら誓紙書かぬがよござんす、なぜにおまへは其樣に私が憎うござんすへ。」「コレ〳〵ソリヤまあ何をいやるぞいの、子迄なした中にイエ〳〵憎いそうな〳〵憎ましやんすが嘘かいなア。……それ程心殘りなら泣かしやんせ〳〵、其淚が蜆川へ流れたなら、小春が汲んで呑みやらうぞ。餘りむごい治兵衞さん、何ぼお前にどの樣な切ない義理が有るとても、二人の子供はお前何共ないかいな。」

おさんは治兵衞に對して十分に戀愛があり、當時の社會の貞操道德觀から出發して居るので、道理はたつぷりある。けれどもおさんと治兵衞との間には人格的戀愛が相對的に確立して居るのでは無いそれで子は幾人あつても、治兵衞から見れば妻に對する愛の擴張として子供を愛撫する精神が鈍つて出て來ない。然るに妻のおさんにはこれを出させようとするのであるが、悲しい事には徒勞に終つて居る。治兵衞はおさんに向つて「そなたに云ふも恥かしながら此間も曾根崎で殘らず聞いた小春めが不心中、今といふ今夢も覺め、思ひ切つては居るけれども、それさきにも咄せし如く、あの太兵衞めが急に身請をするとの噂、退いて十日も立たぬ中、請出さるゝ義理知らずの小春めが事は心殘らねど、問屋仲間の附合にも、金の工面に盡きし故、小春を退いたは何の迚て、えしれぬやつらが口の端にかゝるが無念な口惜しいと思はず淚をこぼしたはいのふ。」と云つて居る、これは總ての放蕩兒に共通な感傷らしい、自分が馴染を重ねた女郎や藝者を折角思ひ切りかゝつて居る所を、誰かゞ現はれて請け出すとなれば、急に口惜しくなつて無暗に奮發を爲したがるのである。治兵衞は紙問屋仲間に對して金の行詰りを知られることを杞憂して居る。債務者の身分であれば一層のこと債權者の太兵衞に小春を奪はれることを無限に口惜しく感じ

て居る。斯うした意地の爭は今の世にも大分行はれて居る。茶屋遊をすることを仲間に對しての一の權威にして居る。借金しても大盡遊の續く者ほど尊敬されて居る。妾宅の多い者ほど金力家として許され、實業界にもそれだけ手腕家として幅をきかして居る。治兵衛が元祿時代にこれを試みんとしたのは尋常不思議の無いことであつた。

おさんは之れに對して「エヽそんならほんまに小春さんは、お前にあいそづかしをいふて、太兵衛が所へ行く筈かへ。チヽそんなら小春さんは生きてゐる氣じやないわいな〱。アヽ死なしやんすはいな、コリヤどうせう。」と立つたり座つたりして騷ぎ出す。おさんは遉に女だけに同性の心意を直覺して、小春の決死的態度を豫告する。「ハテ扨何ぼ發明でも遉は町の女房ぢや、アノ不心中者が何の死なふぞ。」と云つて治兵衛は信用しない。「イエ〱そうぢやござんせぬ。小春さんに不心中は芥子程もないけれど、いつぞやよりお前のそぶり何ないうてもらうか〱と若し悲しい目を見ようかさ、案じ過して小春さんへいさしいと思はんす治兵衛殿の爲めぢや程に、思ひ切つて下さんせと、かきくどいてやつたふみ、引かれぬ義理と合點して、親にもかへられぬ戀なれど思ひ切ろとの嬉しい返事。是程眞實な心で何の太兵衛の所へ行かしやんせう。請け出されたら其儘に死ぬる覺悟に違ひはない。小春さんを殺しては此のさんが義理立たず。どうぞ、命が助けたい、思案して下さんせ。こなさん往つてどうぞ殺さぬ樣にして進ぜて下さんせな〱。」おさんは治兵衛の心中を救はんがために小春へ手紙を書き、親にかへられぬ戀を社會の義理の爲めに傳法肌な女郎の意氣として治兵衛を思ひ切らせたは能いが、今度は太兵衛に請出される爲めに死を決したので、おさんに取つて間接に人殺になるので、前門虎を禦いで後門から狼を入れる結果になつた。當時一體に氣の弱い癡頽的な宿命的な細君等の代表者である、おさんは、それが心配で堪らず、夫を說いて小春を請け出させることに苦心する　簞笥の小引出から小判五十兩を出し、其外自分の衣類二十兩程の品を風呂敷包にして治兵衛に渡す。

□　□　□　□

いま此のおさんの行爲を道德上から審議して見たならば何うであるか。縱令女郎の如き卑しい稼業に從事して居る女であつても、同じく人間である以上は、其無分別な同胞の死を取り止める唯一の手段として夫に請出させることは寬宏な烈婦の行爲であると見なければならない。けれども此の場合には請出した小春を父兄の扶養義務者に送り遣すか、或は獨立の生計の立つやうにして遣るかに出でなければならない。然るにおさんに於ては果して何う出て居るか。治兵衛は風呂敷包を僕に持たせたまゝ、おさんに向つて請出して後ち、圍つて置くか內へ入れるかをしをれて相談すると、おさんは一時答辯に窮したが、胸まで突きかける涙を呑みながら「ハテナ子供の乳母か、飯焚か面倒ながら〱眞實の妹〱〱持つたと思ふて。」と苦しい聲で云つて居る。「手足の爪を放しても皆所天への爲じやもの、跡の間には詮ないこと。」と云つて居る。之れに由つて觀ればおさんは夫の爲めならば如何なる犧牲にも出掛けると云ふので、請出した小春との關係の繼續をすら承認せん形勢である。小春を我が家に入れて乳母と爲し妹と爲して起居を同じうせんとするは、一室に妻妾の群居することを願ふ者である。假令小春と治兵衛との關係に於ては性的の交涉を絕つて乳母や實妹のやうに義理の表面を繕つても、一たび兩人の間に喚發した戀を切斷することは出來ない。飽く迄も一室に妻妾の列び居ることを是認する德川時代の女子たるを免れない。この種の女子は今日でも隨分多い。夫が夜五更に色町から歸るのを茶の間に待つて居り、風の吹くのや猫のくさみしたのを聞いても夫かと疑ひ、玄關に走り出で拜するのを日常の行事に取扱つて居るなどは尋常茶飯なことであつて、同一の天井の下に妾と二

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

人で夫を間に挾んで寢て居る者すらある女子の犠牲もこゝまで到れば人間として問題にするに及ばぬとであるが、斯うした細君等を世間では貞女として持て囃す風が今の世にもある。之は三百年來女子に悋氣を酷く禁じた男子本位の道德の結果であつて、憎むべき穢惡の世である。

□ □ □ □

さて治兵衛が金を懷に入れ、風呂敷包を僕に脊負はて家を出ようとする所へ、舅の五左衛門がやつて來て、おさんと夫婦別れをさせ、孫の勘太郎を置いておさんと孫のお末だけを連れて歸る。そこへ小春が來て治兵衛と一伍一什を話し合ふ。そこへお末が尼姿になつて現れ、母諸共に尼になつた事を報じ、母の手紙を出す。手紙には小春に願つて治兵衛殿の命を取り止めた禮に二人は夫婦になつて吳れろとあり、吳れ〲も勘太郎のことを賴むとある。小春はそれは聞えませんと云つて泣き伏し、あれ程貞女なおさん樣にすごきの別れをさせたのは皆な此身の誤りからであると云つて泣く。手紙の終りに舅五左衛門からとして、金子百五十兩を大引出に入れて置いたからそれで小春を請け出して吳れろとある。小春治兵衛はお末に縋り附いて泣き哀しんで居ると、太兵衛が治兵衛を殺しにやつて來る。二人は互に拔き合つて太刀合すると太兵衛は殺されてとゞめを刺される。治兵衛はお末を僕の三五郎に託して死出の別れを爲し、小春と手を取り、急いで網島の長大寺を指して行く。

おさんは親の權力で連理をさかれて家に戻つたが爲に、妻妾群居とはいかなかつたが、無常の餘り尼になつた。此尼になる風習は平安朝時代からであるが（平家の女房達のやうに）、徳川時代には殊に上下を通じて流行した。薄命な女子、淪落の女子は勿論のこと、義理立ての爲にも動もすれば尼になる。おさんの尼になつたのは義理立てと身の不幸の合併からであつた。元と尼になる目的は宗教的生活の要求からであるが、當時の習俗に於てはそんな菩提心からでは無く、謂ゆる世捨て人の思想からであつて、男子が借金に困つて頭を圓めてお詫すればそれで帳消しになるやうに、此の世の絶緣して白玉樓中の人に屬する意味である。今日はこんな馬鹿げた風俗は頽たり、半生の失敗女と雖も唯だ淪落の女子として社會の裏にかくれて生活して行くやうになつた。而しておさんが斯うなつたのも皆な家族道德に基いた結婚の失敗からであつて、治兵衛との間に共鳴した人格的戀愛が無かつた結果である。彼の女は薄命な女子であつた。治兵衛も亦た結婚の失敗者であり、その惡所通ひは水の低きに赴くやうなものであつた。小春も亦身を遊里に賣つて格子の中に生きて居なければならない薄命女であつた。自分を愛して吳れる治兵衛を暫し浮世に愛して他賴りに成らうとするは自然の人情である。二人の關係は元より惡緣に始まつたのであるけれども、魂に魂を重ねて居るのであつて見れば、寧ろこの方針に發展させて人格的戀愛に換質させ二人の後半生を復活させるに過ぐは無いのである。二人が網島の長大寺を差して再び心中になつて一切の關係者に義理を立てることに構想した作者の道德觀には誤りがないが、たゞ當家の家族道德が義理一邊を偏重したが爲めに、斯うした悲劇を生じた社會の罪を後人は哀しむのである。殊に少女お末までが義理の柵に制せられて尼になるに至つては、當時の義理道德の弊たるや救ふべからざるものであつた。作者は此の淨瑠璃に於て人情の微と義理の枠とを遺憾なき靈筆に送り、色々の道德的關係を交錯させて居るが、おさん治兵衛の結婚を破鏡にして小春治兵衛の道行を骨子として運んで居るのは、結婚の本領は飽く迄も戀愛に存することを暗示し、男女の個人道德に左袒し頗る正鵠を得て居る

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

青年と性慾（三）

醫學博士　藤浪鑑

余は此問題に就て、確信と安心とを以て今、諸君に語ることを得るなり。幾多の實例に鑑み、又東西の多くの學者、殊に性慾學に就て研究せる學者の言論に徵し、余の以前より考へ居りたることは、益其確信を固むるのみとなれり。

余の確信するところに據れば、性慾の抑制は人間に於て必ず出來得るものなり、又出來たる實例は少からざるなり。世の獨身者必ずしも直に皆、性交禁斷者に非るは、言ふ迄も無きことなれども、眞に一代を通じて性慾を抑制し性交を禁斷することの人間に於て敢て不可能に非ざる事は之を明言するに憚からず、蓋し、性慾の抑制と云ふは、人間の心頭より性慾を全く打消し去るの謂に非ずして、彼の懷ける性慾をして跳梁せしめざるやう、又跳梁の結果なる性慾的不法行爲をなさゞるやう己の意志にて抑制するを謂ふなり、意志ある人間は是れ必ず出來ずと云ふ理由更に無し。況や普通期待するところは、一生涯の間には非ずして、婚姻迄の抑制なり、又婚姻以外の性交を遮斷するにあり之が絶對に出來ずと云ふ道理一も有ることなし。又之を實行したる青年は世に其類決して稀ならざる可し。

性慾の抑制が强て出來得るとするも、此事若し果して青年の身心に危害を及ぼすものなりせば、其抑制は決して好事に非ず。青年男子が婚姻まで己の性慾を抑制することは果して其心身健康を脅すものなるや如何。

是、青年性慾に關する實際問題に於て、最も重要なる核心の問題なり。

是頗、熟慮を要する問題にして、人間には精妙なる身體機關を具備して其作用活潑に行はるゝの外、更に頗る複雜なる心理作用あるものなれば、身體內の諸官能相互關係を究めむとするには最、愼重なるを要す。人體の諸機關諸官能を最多く研究したるものは醫家なり。しかも人體の諸機關諸官能が一の遺憾無く悉く究明され盡せりやと問へば、之を然りと答ふる醫家は世にあらざる可し。從て複雜なる性慾問題に就て、種々見解の相違が醫家の間にあるも亦不思議に非ず。

余の確信するところに據れば、青年の性慾抑制は、普通の場合、斷じて其健康を害するものに非ず。之に就て余は次の如く考へ居るなり。

性慾抑制の害を謂ふ人は、屢、生殖腺分泌液の內分泌作用（上文參照）に其根據を置かむとせり。即、此分泌液中の物質は吸收されて腦髓中樞を刺戟し性慾の感覺を惹起す、而て此

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

分泌液徒に蓄積儲留して漏出するところ無くば、其吸收さるゝ物質の作用は益重疊し、是、一種毒物の如くに働くに至ると云ふ推測なり。此推測はさることにして、一かどの理屈あるやうに聞こゆれども、此健康體に於て生殖腺分泌液卽精液の蓄積儲留する場合に其中の物質多量に吸收せられ此物毒作用をなして身體組織の健康を障礙すと云ふことは、果して學術上の證明を經たるものなりや、其身體組織の健康を害すと云ふも、果して何處の組織に如何樣の有害作用をなすものなりや。吾人は總て之を知る能はざるなり。性慾の抑制に由りて生殖腺分泌液蓄積は之れあらむも、其液は此場合無制限に製出せらるゝに非るは事實の示すところなり。又其分泌液中の物質の吸收は之れある可しと雖、之が果して身體組織に對し確に有害作用をなすやと云ふに、却て其反對を實驗したる學者あり。例之、睾丸の浸出液を試驗動物體內に入れ、其吸收に因りて、神經筋肉組織の働作を增進し疲勞を減却せしめたりと云ふ成績あり。又或る學者はプォール氏の「スペルミン」(睾丸の浸出液より得たる物質)に就て研究し哺乳動物に之を頻回持續して與ふれば、食思を增し體重を加へ傳染及び中毒に對する抵抗力を昂進することを謂へり。又他の學者にして、此「スペルミン」の無効又有毒なるを主張するものあり。但、斯かる種類の實驗は之のみを以て直に靈妙複雜なる人體の性慾生理に完結せる結論を立てしむるものに非ずと雖も、余が今此一、二を引きたるは、人間に於て生殖腺分泌液の蓄積が直に有害作用をなす、と想像するとの未承認されたる學說に非ざるを言はんが爲めなり。よし此蓄積儲留が有害作用を誘起するものなりと假定するも、健康なる青年は之に對して一種の安全辨と稱す可き、自然の排出作用を有せり。是は卽、遺精なり。健康なる青年が僅少の度に於て遺精するは、是れ決て病的の現象と謂ふ可からずして、寧、生理的と稱す可きなり。青年が僅少の度に於て遺精し、之に就て過憂するは理無きことなり。青年は屢此過憂の爲に却て健康を害するに至るものあり。此際適當の衛生的注意をなすならば、終に何の不良影響無くして經過し去るなり。

　性慾の刺戟及發動に對して、腦髓の働大に與つて力あるとは、上文にも既に述べたるが如し。若し果して性慾抑制が害ありといふこと眞ならば、其主なることは、生殖器の作用よりも、余は寧、腦の働に結附きたるものとして之を考ふるが其主旨なりと信ず。夫れ人間の腦は其作用誠に複雜にして又靈妙なるものなり。今此腦の働に結附て性慾抑制の害ありとするならば、其害を解除し豫防するものも亦人間腦髓の働の分內の事と謂はざる可からず。靈妙複雜なる人間の腦髓の働に於て、是程の餘裕も無しとは決て信ずるにあたらざるなり。況や訓練を受けたる智識階級の青年の頭腦に於ておや。

　余は上文に料理屋、有料便所の譬喩を出したるが、世には性慾を以て食慾に比し或は糞尿排泄を欲するの感に比するもの實に之れあり。食に餓えたるものが是非食餌を取らざる可からざる如く、又糞尿の排泄は決て之を抑制す可からざる如くに、人間性慾の發動は決て抑制す可き性質のものに非ずとして、性慾の發揮者の爲に好個の辭柄を與ふる者多し。人間

の自然性は果て眞に斯くの如きものなるや。余を以て觀れば性慾を以て食慾及糞尿排泄と同一視することは全然其當を得ざるなり。飮食や排泄は人間生れ落ちたる時より死に至る迄、一日も之を廢するあたはざるものにして、飮食を廢し排泄を止むれば其個體の生存は忽に危殆に陷るなり。人が此慾、此行動を抑制し能はざるは自己の保存の上よりも自然の眞理なり。性慾に至ては頗る其趣を異にす。性慾は生殖の爲なり、事は種族保存に關して自己保存に關せず又生活中の一定期の間にのみ之れあり。斯かるものを以て食慾や排泄に比するは人生の自然を知らざる人の言なり。世に料理屋無くとも、人は飮食せざる可からず、有料便所無くとも人は糞尿を排泄せざる可からず、獨、性慾は之を發揮するもせざるも銘々の勝手なり自由なり。誰が世に「有料性慾發揮所」あるは人間必然の需用に應ずるものなりと謂ふや。

性慾の抑制が少くとも思慮あり修養ある青年に取り、些少だも害ありとは如何にしても信ずる能はず。世の醫家にして性慾抑制が神經に害ありとして、一定の患者に對し婚姻以外の性交を「處方」せむとするものあらば、余は此人が果て人間的並に學術的良心を以て之をなしたるやを疑はざるを得ず。假令特殊の場合に於て、此事一分の眞理を含蓄することあるにせよ、其由て來る弊害の多きを知らざる可からざるなり。

性慾に就て特に研究したる信賴す可き醫學者の多數は、皆性慾抑制の身體健康上に危害無きものなるを斷言せり。生理の上より、又おこがましけれども自分自身の經驗に由りても此事毫も疑の挾む可きもの無し。少くも精神的修養ある青年に於て、全く然るなり。「愛の衛生」を著はしたる有名なる伊太利のモンテガッツア氏は曰ふ。「余は性慾的放縱の爲に極端の衰弱、白痴、痳痺を來したる多くの實例を見たり。余は此放縱の結果たり得可き疾病を少くとも二十種算へ擧げ得るも、余は唯禁慾純潔なることに起因せる、唯一の疾病だに見たること無し」と。獨逸の衛生學及び生理學泰斗なるルブネルは曰ふ「之を衛生の立場より觀て、人間は皆性交をなす可き必要決て有るものに非ず」と。佛國の花柳病學者なるフールニエ氏は曰ふ「人、青年に對し性慾抑制の害を說くものあり、是、輕卒にして又穩當ならぬ事と謂ふ可し。余は告白せむ。若、斯かる危害果て有りとせば、余は未だ、之を知らざるなり。又余は此領域に於て觀察を遂ぐ可き機會少からざるに拘はらず、未、醫家として斯かるものを見たること無し」と。瑞典のルンドの大學教授にして性慾學に造詣深きリッピング氏の如きも、亦此危害無きを確言せり。其他今一々其人名を枚擧するの煩をなさざるも、歐米諸國の諸大醫にして此性慾抑制の害無きを揚言する人頗る多し。我國の松浦博士亦明に之を言ひ、余亦全く心より之と同意見なりと云ふの外無きなり。又以前のことなれども、先年諸威に於て醫科大學に向て發したる問合せに對しクリスチアナ醫科大學教授八人署名の上にて其回答を與へたるものあり。其回答の言に據れば「風儀良き生活並に性慾抑制が健康に對し有害なるものありとの說に對し、吾人の經驗の告白は皆一致せり。其は全然誤なることなり。十分純潔にして風儀良き生活より起因

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

し得との主張を許す可き或は之をなし得可き、疾病若くは身體弱點あることは、其一つだも吾人の曾て知らざることなり」と。

七　制欲は人間の誇である

以上は單に身體生理の方面を主として論じたるものなれども、人間は唯之のみに非るなり。既に前にも言を挿みたる如く、性慾の發動に就ては人間腦髓の働大に與て力あるなり、既に腦髓の働與て大に力ありとせば、人間が己の性慾を始末するにも、腦髓亦大に勉めざる可からざる道理なり。性慾は生殖腺內分泌の自然の結果なれば我關せずなど云ふ程に人間の腦髓は無責任に非る筈なり。

既に腦髓の作用與て大に力ありとするならば、性慾抑制に關しても、腦髓の働如何卽個人の精神狀態如何によりては、其結果に若干の相違を來し得るや、亦想像に難からざるなり。余が玆に倶共に語らむとする青年は、教育ある青年なり、知識あり精神修養ある青年なり。他の教育無く理智無く情の動くまゝに身體を取扱ふ外無き青年、野獸の如き青年、野獸の如き青年に於ても亦此性慾抑制と云ふ高尚なる事が理解せられ得る乎、又之を强制する場合に如何なる健康上の影響を及ぼす可き乎は、多少問題に非ずとせず。

性慾抑制は人間の自然に反すと云ふを以て、性慾抑制の不可なる理由とする人あり。之に共鳴する知識階級の青年亦た甚多し。此人間の自然、卽人間の本性を知得したるが如くに見ゆる怜悧なる言は、屢己の不品行を辯護する場合に使用せらるゝこと亦少からず。此點に於て人間は實に利巧なる動物なり。彼が智と辯とは誠に非を飾り諫を拒ぐに足るなりされば惡魔「メヒストフエレス」は嘲て言ふ（ゲーテのファウスト）『人間は之を理智と名け、只管之を用ふ、斯くて彼はあらゆる獸よりも、より多く獸的ならんとするなり」と。

然れども是、果して人間の自然性の全幅なりや。

人間の自然は固より之を重ぜざる可からずと雖、人間の自然性には二個の方面あることを知らざる可からず。人間は亦一の動物なるが故に動物共通の自然性を有すると共に、人間は最進化したる動物なるが故に、一切の他の動物には具有せざる若しくは未發展せざる自然性の方面をも有するなり。前者が人間の自然ならば後者も亦人間の自然なり。何故に動物共通の性質のみが、自然にして、其然からざるものが不自然なるや。豈斯の如き道理あらむや。學者はやゝともすれば動物共通の性質をのみ認めて之を人間の自然となす傾向あれども、折角進化して發展し來りたる性質にして動物を超絶せるものは、是、人間に於ける特殊の自然性として、人間は之を尊重し、且益之を發達せしめざる可からず。此人間に固着せる特有の性質、卽人間の自然性として、他動物に對し特徴をなすものを何ぞと云ふに、それは人間の軀體、血液の形態及生理的性質に非ずして、實に全く人間の精神作用に有り。此精神作用に於て最も人間の特徴を示すものは、進歩なり、二は己を抑制する力なり。猩々と人間とは其身體の形態に於て酷似し血液の反應頗、共通類似の性質を示すなれども、猩々は何時迄も其生活狀態變はるところ無し。之に反し人間

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

は僅々二千年三千年の昔と今とは其生活状態に雲泥の相違を示せり。是、人間に特有の自然性なる「進歩」に因るなり此進歩は全然精神的なり。又動物には唯利己あるのみ、己の欲の動くまゝに行動するのみなり。然れども、人間には利己の外に利他あり、克己、犧牲の精神の如きは唯人間のみの特性なり。是、人間に特殊なる自然性なり。人間は進歩したるものにして、今後も益進歩す可きものなり。此進歩は唯人間の精神的方面にのみ有るものにして、其益進歩するは人間に特殊なる方面に於てせざる可からず。人間が己の意志の力にて其性欲の發動、跳梁を抑制せむとするは人間の性質に於て敢て不自然のことと謂ふ可からず。人間が能く之を爲すは、實に亦「人間的」なるに非ずして何ぞや。

人間は自然と逆行する能はざるものなり。猶、人間が鳥の如く飛ぶ能はず、魚の如く泳ぐ能はざるが如し。然れども人間の進歩的精神能力は人間をして常に必ず自然の奴隷たるに甘せざらしむるなり。自然に從ひつゝも亦自然を征伏するを得るなり。人間が飛行機を發明したるは大空を征伏したるものとも謂ふ可く、其潜水艇を有するは海洋を征伏したるものとも謂ふ可し。性欲は人間の自然なりとの理由とて、唯其一方面のみの奴隷たるとが人間の自然性を盡したりとも謂ひ難きなり。

獄中に於けるパンカースト女史

余は總て上述の言説を一括して謂はんと欲す。性欲を抑制することは、敢て人間の自然に反するものに非ず、人間は自然的に能く之をなし得可き人間的特性を具備するなり。性欲を縦に跳梁せしめ、之が發動の爲に人間に大切なる生殖的機關を濫用する事は百の禍害ありて一の利無し。性欲の抑制は人間に於て、殊に少くとも精神的修養ある青年に取りて、其身體に危害を來らすこと斷じて無し。青年が己の品性を重ずるを知り己の社會と己の後世とに負ふ責任の大なるを知らば、彼の國民健康を脅迫する花柳病の如きものと絶對に沒交渉ならざる可からず。彼の意思だに健剛ならば斯くするは彼に取て固より易々たることのみ。斯くて彼は婚姻に由て始て性交を遂げ性欲の衞生と性欲の倫理は永く彼の操守するところとなり、彼が好配は健康純良なる兒女を生み、彼が生殖作用は彼が家族と彼の國民とに無上の福利惠澤を來たさん。要は、青年が己の性欲を支配するにあり。

八　如何に抑制すべきか

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

然らば性慾は、如何にして、能く抑制するを得可き乎。茲にも青年の深く思慮を加ふ可きものあり。性慾發動し、其將に絶巓に達せん迄之を增長せしめたる後に於て之を俄に抑制せんとするは稍難事なり常に其未だ斯く張り切らざる手前に於て、之が方向轉換を行ふ可し。性慾抑制の消極的方法としては、之を挑發する種々の惡刺戟を遠ざくるに在り。中間的方法として、運動、純潔なる快樂、清和なる家庭生活の如きは性慾に其發動の隙間を與へざる頗、良好の方法なり。又之と共に、青年が各己の職業に趣味を深くし、之に向て勉强努力することは、常に性慾抑制を容易ならしめ、極て好結果を來すものなり。積極的方法としては、人各其精神的、道德的修養を積み、常に其心頭を清純和平ならしめ併せて其精神的勇氣養成せられ、之に賴て多の誘惑に對する抵抗力の强堅となるを期す可きなり。余の確信するところに據れば、己の心の持ち方一つ、又己の居るところの境遇如何によりては、此等の功果を得ること、假令人皆聖人たらずとも亦道學者たらず共、決して困難なるものに非らず、去程の苦痛無く、和平の裡に性慾の抑制行はる可し。且、人此性慾に於ける精神的「エネルギー」を轉じて、之を他の有益なる「エネルギー」に移すを得て、之を使用する場合には、其人の精神的作業の能力の增進するものなり。此事は人或は不知不識の裡に行ひ或は力めて之を成し、其良結果を得たることは、屢、之を經驗したる人の口より聽くところなり。之に反して、性慾の抑制が精神的作業の力を阻害すと云ふことは、亦屢々耳にするところなれ共、若、果して此事ありとせば、こは慥に己の性慾統御法を誤りたるに因るなり。人、一方に於て唯益性慾を刺衝し興奮せしめ、其勢を馴致し、其の愈猖獗するに至て、始めて他方に於て卒かに强て之を抑制せむとするは、徒に腦髓の働きを困憊に陷れ、精神作用を昏迷せしむるものなれば頗る、愚と謂ふの外無し。

ハンガーストライキ（絶食同盟）によりて
婦人參政權運動者出獄歡迎の示威的大行列

人間が性慾の奴隷となるは、動物的人間性の曝露にして、己の意志もて性慾を抑制するは、眞個人間的なる人間性の特色なり。彼は怯者、敗北者の事にして、此は勇者、勝利者の業なり。嗚呼健剛なる可き青年、生氣滿々たる陽春三月の如き青年は、怯者、敗北者なる可からずして、必ず勇者、勝利者たらざる可からざるなり。（終）

會告

會員轉居の通知は必ず新舊兩住所とも明記せらるゝことを願ひます。
會費は前金のことゝなつて居るのですから成るべく集金郵便の催促を受けざる樣御心懸けの程を御願ひ致します。

玉ぬき遊びの十八大通

救世軍大財婦人救濟係
伊藤富士雄

遊廓物語 其六

啊娜つぽいが彈力のない顏の、一目して知れ切つた二十歲前後の婦人がやつて來た。

「妾は某宿の××樓に娼妓勤めをしてゐる者でございますが、兎角病氣勝ちで、稼げば稼ぐ程借金が增すばかりで、いつ自由の身となれる見込もありませんから、逃げ出して參りました。どうぞ自由廢業をさせて頂き度うござゐます。」

といふ。ものごしから言葉つき、なか〳〵確りした女で、どうして逃げ出して來たかを尋ねると。

「昨夜お客がありまして、其席に出てゐましたので油斷をしてゐるのを見すまして非常口に出ますと、いつも非常口の鍵は風呂番の爺さんが仕末するのですが、粗忽な爺さんで錠前をかけるのを忘れてありました故、天の與へと拔け出しましたのです。」

といふ。卽ち一通りの調書を取つて所轄署に同行すると、警察では例により樓主を呼出した。

やがて驚いて飛んで來た樓主は女の顏を見るなり「こいつは太い阿魔です、昨夜お客から金を取つて、裏口から逃げ出しました」

と訴へたが、女は左樣な事はありません。それは私が居りません故性質の惡い客が、そんな言ひ懸りをして遊興費を踏倒して歸つたのでしやう。と答へて承知せず、嘘だと思ふなら其客を茲へ呼び出すがよいと、空嘯くのでどうせ何處の人間とも分らぬ客を探しても居られず、結局水掛論で警察でも詮方なく、娼妓の申請を受理して廢業の手續を終り、救世軍に伴れ歸つてホームに收容した。

すると四五日を經て私の知合が東京にある故、其人に引取らせて貰ひ度いと言ひ出した。早速其の知人を呼び出して本人の希望を告げ引取つて呉れるかと相談をすると、其男は實に意外な事を語つたのである。

「實を申すとお恥しい譯ですが、彼女の廢業は私と談合の上やつた事で、三四度馴染を重ねてゐます内にどうかして助けてやり度いと思ひまして、こんな事になつたのです。その先夜の逃げ出す時の客といふのもなに實は私なのです」

「ふうむ。ぢや君は玉ぬき遊びをやつたのだね」

「はい、どうもお手數かけて相濟みませんでした。あの晩本人を逃がしました後で、頃合を圖つて怒鳴り始めまして、敵娼はどうした、どうした。と酢拂つた樣な調子で怒鳴り、遣手や番頭が氣を揉んで探して見ると居ない。さあ逃げたのだらうと、上を下へと騷ぎが始まる。それを「ナニ逃げた馬鹿を云へ、己れを振つて色男の處にでも行つてるだらう、そんなら好しもう俺れは歸るから、先刻あの阿魔に預けた金入を渡せ」と申しますと「えッそれぢや、あの旦那のお金を持つて逃げたのですかッ」「ナニ逃げたもないもんだ。アサはやく、俺れの蟇口を寄越してくれ」と云ふ勢ひ。番頭も弱易して「どうか代りの女で遊んで、それで勘辨して下さい」と云つたやうな事で代りの女を呼びさう〳〵勘定を踏んで「旦那どうも相濟みません、又心持ちを直しにお近い内」とお詫を三々云はせて歸つて來ました」

といふ。昔は附馬をまいて、豪傑遊びをしたといふ話を聞くが、さすがに世の中が進步すると變つた事も始まるもので、今は玉ぬき遊びとて、遊興中の油斷を見すまし口へ身受けをした上、一夜に二人の女を弄んで勘定迄も踏むといふ大通がある。

藝妓屋の大恐慌

▲藝妓が抱へ主との契約年限を無視して中途自由廢業をしても、其間に於て稼ぎ高が前借金を償却して餘りあり、抱主に些の損害を與えない、といふ理由に依つて、抱主の要求を斥け得られる新記錄が大阪花柳界に實現して、同地の藝妓屋に大恐慌を起して居る、

▲其事實を記すと、大阪市堀江遊廓平石席の玉男（十八）といふ藝妓が、昨年一月から向ふ五ヶ年五百圓の前借で平石席に住込んだ處、今年の始めに或商人と情約が成立し間も無く足拔きをして件の男と夫婦になつた、處、一方抱主は大枚の金を掛けて抱へた妓が、一年足らずで逃出しては詰まらない、前借金の殘りや玉男を抱へる時勝手に休業廢業をした場合には百五十圓の違約金を出すといふ契約のあるのを楯に、玉男の動產を差押へてしまつた、

▲玉男は右に對し辯護士を賴み、今迄稼いだ高は前借の元利金共支拂つてタップリ儲けさしてある、それに休業廢業をしたなら違約金を出せといふ、そんな人の自由を束縛した契約は公の秩序を紊すと云ふ理由で異議を申立てた處、本月二十一日大阪區裁判所で、此の主張が認められて勝訴の判決があつた、

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

教育ある婦人の責任

婦人の友主筆　羽仁もと子

□教育の効果と無教育者

教育の目的は人間の有てゐる各性能——知識、感情、意思——夫れから心の働き、而して是等を外部に現はすべき總ての行爲が教育に依つて完全に圓滿に發達を遂げ、夫れが美はしく現はるゝのであります。故に今日一般に教育ある者は、心性に於ても行爲に於ても事實何處までも教育の効果を發揮し得らるゝ能力を有するものであります。

理窟から申せば教育を受けた婦人は家庭の主婦として、家事萬端の整理整頓から、家庭の第一義とも云ふべき和樂趣味等に關しても、其他洒掃應對より子女の教育、經濟、衛生等諸般の事務、さては慈善救濟等の社會的の事業に至るまで、己が受けたる教育の効果を充分に發揮し

而して其の働きが能く出來る筈であります。否出來なければならぬ筈であります。然るに事實に於て今日の教育ある子女は果して其の心性に於ても、其の行爲に於ても無教育な子女に優つて居るでありましやうか。自分の責任ある所を完うして居るでありましやうか甚だ疑はしいのであります。世の仲には別段教育を受けたことのない婦人でも、家庭の主婦として近隣合壁の賞讃の的となつて、模範的婦人と見られて居る人が尠くないやうであります。

私は今日の女子を侮蔑して現在の教育ある御婦人を決して呪ふ譯ではありませんが、教育を受けた御婦人と、無教育な御婦人との間に誠に殘念でありますが何れ程の徑庭があるかの疑を考へられずに居られません。

□婦人の責任と社會

然し斯う申しますれば、現在の婦人は家庭に於て事なきを以て、先づ自己の滿足と、世間の體面とを保つことが出來るかの如く御思召なされるかも知れませんが、夫れは誤りも甚だしいのでありますたゞ此の部屋の空氣が觸らぬ樣、腐敗せぬ樣に努力するのみでは現代の婦人の責任を盡して居られるとは申されません。一歩進んで、此の部屋の空氣は腐敗すれば自ら起つて其の窓を明けて、清い新らしい空氣を入れ替へる程の覺悟を以て努力するやうな、積極的でなければなりません。即ち社會的活動を爲さなければ教育ある婦人の責任は盡されたとは申されないのであります。只、人の話頭に上らざる程度の生活を爲して夫れで婦人の

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

努めは盡きたと考へる樣では教育ある婦人としては未だ徹底したものと云ふことが出來ないのであります。教育に依つて鍛へ上げた力、即ち教育の効果を今少し社會的に發揚して、身心内に貯へた働きを十分に世の中に現はさなければ、其の責任を盡したものと云へぬのであります一例を引けば、女として社會から侮蔑非難されて居る、看護婦、旅館の女中の如きも、其の勞役と疲勞とを詳に調ぶれば彼等は休養と慰安とを大いに求むるは洵に故ある事であります。故に病院に於ける病人の看護の如きも家庭に於て何事も爲す所なき婦人等はせめて一週の一日の日曜だけにでも之を職務とする看護婦に代つて、彼等に休養の時間を與へ得るならばこ其の社會的の影響効果は實に大なるものであらうと思ひます。

□自己の天分を忘るな

斯樣に積極的に社會の凡ゆる方面に活動して教育の効果を發揚してこそ現在婦人の精神は現はれるのであります。然し社會を組織し國家を維持する上に於て男女兩性の一を缺くことは絕對に出來ないのであります。男のみでも社會が成立せなければ女のみでも世の中は持つて行かれないのであります。故に男女一體となり各々盡す所を異にして初めて世の中は成り立つて行くのであります。男女の性は生理的及び其他の諸般の事情の爲に兩性に差異が生ずるのであります。從つて天分は各々異つて居ります。男には女の及ばぬ長所があり、女には男の及ぶべからざる美點が存するのであります。其各々の美點長所を發揮して長短相補ふ所に始て圓滿なる人性の發展を見ることが出來るのでありますから、此邊は能く私共婦人の研究に値する所であります。

□□□奇妙な展覽會□□□

——婦人ホーム落成式——

去る二十八日、麻布區新廣尾町に改築の救世軍婦人ホーム落成式が午後二時から行はれ妙な關係材料を陳列して興味深き他に見る事の出來ない展覽會が開かれた。先づ日本救世軍の事業成蹟を示す種々の統計表に始まり、最も注目を引いたのは石油の空箱三杯に山さ積まれた女郎の文であつた。女郎の文さ云つた處で厭らしい艷文の往復ではなくて、これは悉く生々しい血汐の滴るやうな、彼等の悼ましい身の上を訴へて廢業の助力を求めて來たもので、明治三十三年自由廢業が始まつて以來、同軍の手に救はれた數は既に千人に達してゐるさいふ。其他娼妓の玉帳、計算帳が數十冊並べられ、何れも稼げは稼ぐ程前借金が殖え、三百圓借りて娼妓になつて二年稼いだら、四百六十圓になつたさいふ類ばかりなのには、皆一驚をなしたやうであつた。それから身を賣つた當時の契約證の類、洲崎遊廓月次會の首唱で「合同自由廢業娼妓の原籍名簿」を作つて自廢の防禦に努めたものや、娼妓の嫖客名及び其他の覺帳やら、或は救世軍に救はれて堅氣になり、立派にお嫁になつた人達の成蹟、救世軍士官が自由廢業の勸誘に行つて幾回が遊廓側の無頼漢に毆打されて重傷を負ふた記念品及び、其有樣等を撮影した寫眞等が陳列してあつた。

別室では又、新渡戸博士、江原素六氏並びに同ホームの最も有力ある後援者たる志立興銀總裁夫人等の講演があつて、閉會したのは五時半であつた。いふ迄もなく此の展覽會は極めて眞面目な意味の展覽會で、慈善救濟の方面に志ある者の見逃すべからざる有益な會であつたが、新聞紙の傳ふる處によるさ、何しろ吉原、洲崎、品川、新宿あたりの女郎衆の文や、寫眞や玉帳覺帳まで列べられたのだから、中には御親類筋やら好奇心やらで、こつそり見に行つた連中も少しなかつたさいふ。吾人は切に同ホームの上に神の祝福を祈り、之に働かれる過去及び將來の人々の勤勞を感謝するものである。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廓清春秋

河合北洲

人生と幾何學

夫れ、人生は幾何學に於ける一個の點也。宇宙の白紙に映じ來る一點は、進行の狀態により直線、曲線、波狀線を描く

地に匍ふの生活は、長短共に横線の進行にして、横線の進行は動物の生活線也。天に向ふの生活は有無共に縦線の進行にして縦線の進行は植物の生活線也。縦横二線の交叉せる處其角度に人生の價値は存す。人生の肉は地の法に從ふて横線を延長し。人靈は天の法に從ふて縦線を扶立す。縦横二線の十字形に、靈肉相諧ふ直角の人生あり、X形の鈍角に疑問の生活を表象す、四足動物の足跡に似たれば也。

縦線の長くして、横線の伴はざるものは、寒鴉枯木の生活味に超然し。横線の徒らに長大にして、縦線の短小なるものあるは、横棒の生活を強行す、これ人生を棒に振るの徒也。

人生自ら良心の定規あり、以て言行の平行線を描くべし。靈肉のコンパスあり以て大小圓味の完成を圖るべき也。

藝術と科學の平面幾何

地に平面幾何を描くの双脚は、又天に圓と線を描かんとするの双手也。人生は描かざる能はざるの動物也。

藝術は、人生の天に描く理想圓也。科學は、人生の天に描く進歩線也。藝術は巧描に拘はらざる絶對の完成にして、科學は驚天の發見あるも、双對の未成品たるを免れず。藝術の傑作には永久の光輝あり、科學の絶頂には、層々不斷の進級あり。藝術は理想の圓味を畫かざるも、心靈は既に宇宙の大圓に沒入するあり。科學は平行の最近線を進むるも、生命夫自身に觸る能はざるものあるべし。

藝術の生命は超越也。一度感激の羽翼に乘ずれば理想の仙境直に無限の神境ならざるに非ず。科學の生命は進歩也、一階又一階、行程は常に新に限界は絶へず變化せざるに非ず、藝術は天に登るの螺旋階也。科學は地を窮むるの無限軌道也。

男女の裸體問題

女を無視する風紀警察

廓清會評議員 高島米峯

日本の國家が女を理解してゐるかどうかと考へて見ると、頗る面白い疑問がいろ〳〵と起つて來る彼の

▲**裸體畫取締** など云ふ事は先づ其の一例である今日の裸體畫取締と云ふ事はアレは唯男に對してつてゐるもので、女などはテンで眼中に置いてゐないものであらう。其の證據には今日までの所では裸體畫の禁止と云ふ事は男が女の裸體を見てはならぬと云ふ丈であつて、女が男の裸體を見ても一向差支がないと云ふ意味のやうである、意味がさうであるばかりではない如何にも事實は夫れとして受け取られぬのである。手近な例で云へば國技舘の相撲は如何であらう？角力を女が見ると云ふ事は之れは裸體畫以上の大きな問題である、若し

▲**力士が女て** 觀客が男だと假定して見たら如何であらうか——心理學上性慾研究をした人の結論に依つても同一であるが——處が此の實物の裸體を見る事は何等の制裁も加へられてゐないのに、繪の方の裸體は嚴重も至つて嚴重に禁ぜられてある。而して其繪の方が前に云つた樣に女を描いた繪のみに限るとは實に可笑しい事で、力士の裸體畫等は白晝繪葉書屋の店頭に公然と飾られてあるとは何たる矛盾であらう。一體國家なるものが即ち政府なるものが女をどれ程

▲**統治の對象** として理解してゐるかゞ疑はしい

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

東西兩樣の立體生活

人生は又時處位の三角洲に生れて、流轉の波に漂ふ後天の立方體也。

東洋の人種は、天然の豐なる土地に定住する幾千年、横の進行に倦みて、縦の圓錐體に化石す。其社會的組織の單位は家族より以て國家に及び、君臣父子の縦的關係より、忠孝主從の道德となり、敬ありて愛なき階級的觀念は、監督するに非ざれば、監督せらるゝの政治、社會、家族組織となり、其文字や縦行し、其口や竪に開き、其食や直生する植物を常食となす、而して其第一横列たる夫妻の義も亦男尊女卑に終らんとす、東洋人種は飽まで人參式の立方體也。

西洋の人種は、天然に貧しき土地を棄て、横の擴張に務むる楕圓形となり、其社會的組織の單位は個人より以て世界に及ぶ、夫妻に其第一線を始むる横的關係は、愛ありて敬なき自由平等の道德となり、權利義務の法律となり、自己を以て自己を支配するの立憲が、共和の政體社會及家族を組織す、其文字は蟹行し、其口は一の字に閉され、其常食も亦横行動物たり、而して其第一縦系たる君臣父子も亦ユーの一語に同列せらるゝ如き、西洋の人種は終に馬鈴薯式の立方體也。

縦的發達の文明は、其家族に溫醸せられて情の精華となり、義理人情の紛糺となるや、現世の關係を以て、現世の生活を律する孔教に非ざれば、未來の生活を以て、現世を律せんとする佛教を產むに至りしは勢の自然也。横的發達の文明は個人の發奮に促されて意志の鋼鐵となり獨立自衞の擴張となり、常に自己と神を以て自己を律せんとするの基敎に、其信仰を托するに至りしも、亦性習の相近ければ也。東西兩洋の長短は、點の相違に非ずして、描法の相違たる此の如し、採長補短の術を解するもの、深く其公式を學びて解答を與へざる可らざる也。

日々十字架を負ふべし

知行一致とは、縦横線の直角刻法也。十字架を負ふとは、知行一致の靈化法也横に世界同胞の眞髓に觸れ、縦に天父の大靈に直上す、縦横二線の交叉點は則又自己圓、家族圓、國家圓の中心也、かくて自己立體、家族立體、國家立體の基礎に、大盤石を築くべき也。

同じ國民として男女にどれ程の區別を認めてゐるかも亦固より疑はしい、先般我が國文敎の首腦とも見るべき文部大臣が、大阪邊で語つて步いたと云ふ良妻賢母主義や、女子敎育上の議論等も實に不徹底極まる。又、

▲政談演說は　未成年者と婦人は入場を禁ぜられてゐる位は御承知であらうが、生きも靑年會館や新富座に於ける何々の政談演說と云ふと勿論女の入場を許さぬが、政談演說の本物とも云ふべき帝國議會の傍聽席には婦人席を設けて盛んに女子の入場を歡迎し優待してゐるのは、アレは一體如何したものであらう？

高島米峰先生著

◉二十歲前後主義

（定價一圓、小石川原町丙午出版社、發行）

序に曰く「全體、今の青年、ナマ若い分際で、不心得千萬にも、紳士がり、文明がり、高尙がり、穩和がる。セルの袴を裾長う引きずり兩手を懐へネヂ込み、ゾロりとした風をして、ヒヨロ〳〵然ヌラ〳〵乎として步く姿からして癪に觸いてたまらない、時には横素ツ頬のヒン曲る程、グワーンと一つヒツ叩いて」やりたいといふ恐ろしい意勢のいゝ、二十歲前後の意氣を以てした我が高島先生の社會百面觀である、いふ迄もなく先生の事だから行文洒脫、機鋒犀利、觀察警拔で、讀んで飽く事なく思はず快哉を叫ばしめる。時々「狂と呼ばうが癡と言はうが敢て頓着する處ではない。電車でさへ「巣鴨行」のある世の中だ」と云つた調子で、「ウツフ」と頤を解かしめる。輕妙で而も深刻。名は大圓でも文字の上ではどうして金米糖以上に鋭い角だらけ、而も嘗めるとピリ、と辛く嚙み締めると妙味津々。尤も値段だけは圓に相違なく、郵稅は何程か知らぬが何サ廓淸會員には其位負けさす可し。先以て近來の快著。安心して提灯を持つもの也。（江南生）

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

招魂祭と藝妓行列

救世軍中國隊長　高城中校

松山市の招魂祭に藝妓數十名列を作り、盛裝して祭場に練り込み禮拜を爲したる事は、當時同市の新聞紙の詳かに報道する所に依つて明である。世人は動もすれば、此の行事たる一小事であつて、今更取り上げて喋々と論を要する程のものにあらざる如く思惟するかも知れないけれども、如斯俗惡な風習は社會風敎に及ぼす惡影響甚しきものである。吾人は如斯俗惡極まる風習の幾多弊害のある內

第一　少年子弟に惡感化を與ふる事。

第二　虛僞の禮拜を行ふの風を增長せしむる虞れある事。

等の理由を以て如斯陋醜を極むる妄狀の一掃に努め併せて之れが速かに禁止さるべき旨を當局へ上申したのである。

然るに同地の一新聞紙は、先年御擧行ありし御大典の際某市の藝妓百餘名が揃の着物で參拜燒香をなした一事を例し世論の抵擊に對する當局の辯明などを引證して、救世軍等反對の論者を辯駁して、暗に藝妓の妄狀を庇陰するの語氣を洩して恥ぢざるは甚だ遺憾とする處である。尙新聞紙は「救世軍の申し分も尤もな所もあるが、餘り理窟に傾いて居る嫌はあるまいか」など云ひ散らして、此の妄狀を辯護し俗惡なる風習を增長せしめて恬然として恥ぢざるに至つては實に呆ざれるを得ない。吾々は机上の空論でなく、眼前に展開された事實に立脚して、社會風敎の爲に論じ此の行事は純潔無垢なる少年に大なる惡感化を及ぼすの虞れあるに言及したのである。若し彼等の迂遠なる說に從はんか我が社會風敎の改革も百年河淸を待つに等しく實に寒心に堪へない。

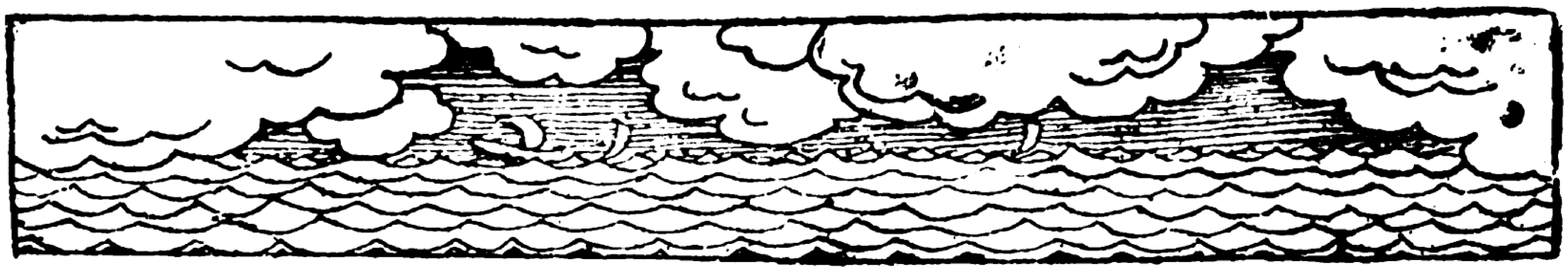
而して醜業婦たる藝妓を忠君愛國の士が一身を君國に獻げ、最も尊き犧牲の死を追懷記念する爲に催さるべき招魂祭と何等か緣由あるかの如く結びつけて、陋劣なる行事を行はんとするは、森嚴淸淨の神境を傷け國家の勳功者に對する禮を缺くものと云はなければならぬ。況んや彼等を大膽にも知事官邸の玄關口に立ち竝つがて撮影したと云ふことは言語道斷と云はなければならぬ。若し彼等の良心が死灰の如くならずして、實に忠魂を慰せん事を思はゞ先づ醜業を打捨てゝ泥水の外に出て、身をも衣も淸淨にして然るに後、神殿に參拜すべきである。左はなくして、隊伍を組み華々しき衣服を衣飾つて、群集の中に割り込み、叨りに之に列するが如きは、最も時宜に適せざるものである。若し人あつて、是れ藝妓等は其の醜業を盛んにならしめん爲の、一廣告なりと云はゞ、彼等は之を如何に說明せんとするか。

由來我國人の藝娼妓の如き賤業婦に對する觀念は實に淺薄卑近にして、其の營業そのものが第一に彼等自身の人格品性を、自ら如何に甚しく破壞するか、將た又社會風敎に對し、家庭の幸福和樂に對し、個人の道德に對し、如何に深刻なる害毒を流しつゝあるかを殆んど理會せざるものゝ如く、彼等は獨り靑年男子を陷し入るゝ最大至極の誘惑物であるのみならず、實に民心を腐敗せしめ、道德を墮落せしめて國運を傾くる禍因を爲するものである。此の恐るべき「バチルス」を歡迎して其の害毒を擅まゝにせしめんとする者、若くは之れが爲に辯護の勞を執つて庇陰せんとするが如きは、之れ何たる心ぞや。

米國には「墓飾日」と稱する日がある。其の日に國家の爲に身命を獻げた人の墳墓に對して盛なる裝飾を行ひ、當日は此處彼處に數多の講演會を開催して有數の名士を煩して偉大なる講演を群集に聞かしむるのである。若し此の眞面目なる群集の中に藝娼妓の如き醜業婦が裝を凝らして隊伍を爲し、練り込むが如き事があれば、彼等は如何なる待遇を受くるであらうか。

今回の大戰亂に依り、各國に酒を禁じ、毀を責いて此歐洲の戰亂に處しつゝある。吾人は社會を奢侈、淫靡に導く一切の毒物を禁壓絕滅して日東帝國の面目を宇內に輝かさなければならぬ、現に北米合衆國の如きは、其の四十八州の中、既に三十九州までは悉く「乾州」、卽ち禁酒州と成つたとの事である。以て其の平常の心懸けから社會風敎の問題、招魂祭の方法に至るまで我國と全く異る所以を見るべしである。嗚呼我が日東帝國に於て酒の釀造と發賣を禁じ、社會風敎の矯正に努め、公娼制度を全廢して、藝妓の如き賤業婦を公式場、及び貴紳の宴會等に出入せしめざるが如き幸福な日は何時來るべきか。吾人は其實現の日の一日も速かならん事を望むのである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY



天鼓の響

我國の正義道德の基本律は何ぞ

横濱　梅翁

我が國民が、個人々々として守つて居る正義とか、道德とかの基本律となつて居る者は果して何物であらうか。學問に於ける理論とか、宗敎に於ける敎旨とかゞ、十人の中に六七人同意義の下に立つて、それを確守して居る理論とか、宗敎とかゞなくて、十人十色の見地によつて國民が一團となつて日本と云ふ我國を組織して居るではなからうか、果して前文の如く正義とか道德とかの基本律が四分五裂したる國民から組織されてある烏合の我日本國とするならば、實に無上の危險目睫に迫つて居るではなからうか。古昔の如く何も彼も御上任せの世の中で、孝經一卷づゝ一家に備へて置いて讀めば良い、佛樣は大切にしなくてはならぬ、はい。天子樣が神樣であるぞ、はい。又伊達家が江戸詰め登りの道中で或る驛場の者が、大勢寄つて風呂の湯を飲んで居る、何かと聞くと、陸奥の太守樣が浴した風呂の水をむざ／＼捨てるのが勿體ないと云つたと云ふ話がある。斯んな世の中から國民一般が理も非もなく御上樣一天張りで、誠に質朴柔順な國民であるから學理や宗敎など何でも構はぬでよい。正義も道德も皆御上樣任せで一貫してある、之れに加ふるに刑法の機部が正義道德部内に立入つて嚴重に支配命令して居つたから昔ならば正義道德の基本律となる學理も宗敎も不定でも危險でも何でもない。然るに當今は文明の域に入らんとする人知の進歩は加之昔の如き大儒も明僧もなく、儒學佛敎は人間の正義道德を支配する丈の力を有せず、僧侶は死者引導と墓を守る丈の役目儒者はふる老人逹が忘れかたみの釋奠祭餘興に酒を飲んで詩を作る位。二道共に昔の隆盛を想像して、再び其の時代の來らん事を夢みつゝあるに過ぎず、迚も世人を敎導して正義道德を說く所か、自巳の位置さへ請合の出來ぬ現況ではないか、伊勢大神宮樣の御守札も一軒でも頂かぬ家はなかつた、今は公然御札は受けませんて極つて仕舞、世の正義と見道德と考へてある凡ては、皆文明に呪ひ殺されて、人情の薄き事は薄氷の如く、大義の輕き事鴻毛のそれと異ならぬではないか。今の文明のどん底を知るや知らぬかの連中は、忠孝などと云ひさへすれば、誰れでも頭をあげる者がないと、自己の眞面目さに自惚れて居るでない者はなどゝやつて位の所でごまかした氣になつて居る。けれども機會さへあれば、忠も孝も莫迦／＼しいとの下心を持つて居る、統一なき烏合の國民は實に賴み少ない國民と云はねばならぬ。見よ此言の虛言ならざるを、軍人に敎育家に宗敎家に、時々其の端緒が暴露して相當の廣告をなして居るではないか。此の他國家に大關係を爲さぬ、親殺し子殺し夫婦兄弟朋友親族相殺し強盜追剝日として新聞紙々面を汚がさゞるの日がないではないか。今は正義道德を御上樣任せにして置くの日ではない、各自個人々々に道德律基本を臍下に堅め多數の同志者を作るでなければ、共滅に滅びて終ふ世中となつて居るでないか。世の上位にある實業家とか政治家とか華族とか云はれて、上御一人さへ賴みと思召さるゝ人々が、虛榮に憧がれて金錢に眩み、それと知りつゝ、鼻の先の蠅を拂ふて、之れ等陰然たる大勢力を有する道德正義の基本律となる可き其の者に注意を拂はざるは實に悲嘆す可きであるまいか。論者が斯まで現況を悲觀するのは、儒學の本家本元なる支那國民、佛敎の本家本元なる印度人、基督敎の本家本元なる西洋國人と比較統計するならば、一番西洋人が眞面目である者が多いやうである。であるのは道德律基本が確に確實なる證據であると思ふ。我國上流社界と稱せらるゝ實業家敎育家華族方が一の約束を設けて、基督敎を信奉する事を御勸めしたい、耶蘇と云ふ名稱が長い年月我國民の意識に惡感を與へたのが第二の天性となつて、何となく氣持が惡い丈であらうから、一奮發して我國の爲めに命を捨て硏究信奉せらるゝを希望する

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

進步した女と新らしい女

醫師　川部傳

私し共がつまり、よく變つてゐる人といふのは、その當時の最多數の人々が時世につれてするのに、自分は眞心の命ずるところに從つて踏み止まつて、信ずるところを行ふのです、時世と共に進むのではなく、何時も時世より遙かに進んでをります。

これを約めていへば、世間のことを念頭に置かず、自分は學問も勵み精神の修養も積んだ上に、それを行ふに十分な勇氣とか才氣とかいふものがあつて、自分の子供を敎育すると同時に、眞人をも助けることが大切です、また場合に依つては友人をも勵まさなければなりません。

その場合、他の人がまだしないから自分も遠慮しようなどゝ思つてはいけません。時世がそこまで進んでゐなくとも自分が先覺者となつて努めたらよいではありませんか。

スペンサアの言葉に「時世より進步したる議論を普及せしむるは、時世を進步せしむる最好の方便なり。」とあります。

時世よりも先きを見て言動する人が多ければ猶更社會は進步いたします。實際時世よりも進んでゐるのは大切なことだと思ひます。他の人々が、自分の現在住んでゐる社會の事柄にばかり注意して、それに迎合して行かうとする時は、その時世に次いで起つて來ることをチヤンと知つてゐて、それに對する準備をするなり、またはその時代を一日も早く作るやうに努めたら社會はます〳〵進步して行きます。

知識がなく經驗がなくて、徒らに先きを見ようとしても、なか〳〵見られるものではありません。經驗を積んでをつて、其上に學識を應用して理想を高くして自分の眞心を惑はすやうな詰まらぬことに打勝つて進まなければ先覺者としての價値はないといつても差支ありません。

世間には根柢も何もなくて、時世より進んでゐるとして自分ばかり信じて、いろいろのことをしたり、または書くやうなことを平氣でいつてゐる人がありますが、それは丁度虎を描いて猫に類したものでせう。そんな人は決して時世より進んでゐるとはいはれません。先日新聞に見えました若い新しい婦人とか、解放された婦人とかの會の人々が首唱された演說會のお話は、あまり思切つたことをいつてをられるので、思慮のない若い人々に惡い感化を與へなければよいがと思はず戰慄いたしました。

そして、あの新聞記事で想像しますと、あの人々は今の時勢より進んでゐる、卽ち、一風變つてゐる人だと自ら信じてをられるやうに思はれます。しかし、これは、その結果を考へない、世間を誤り易い所信のやうに考へられます。

家庭を破壞する婦人の解放といふことには、私は絕

□觀音樣のお砂賣□

■■■勿驚一日平均一圓五十錢■■■

淺草公園で下駄に附いた泥砂を落して賣つてゐる人があると云へば、誰しも驚異の眼を見張るであらうが夫れが事實であるから面白い、其の因緣と云ふのは今は昔觀音の佛體が宮戸川の底から網に掛つて出現ましまし、十八間四面の御堂の本尊と仰がれて以來、幾百年大正の今日に至るまで往さ來るさの善男善女の數は其網の目から出る程に繁く、其爲め階段の踏板は三年目〳〵に張換へると云ふ不景氣知らずの觀音サマ、其の御堂の片隅に四六時中同じ姿で腰掛けて商賣をしてゐる一人の男こそ、卽ち砂賣の主人公で、前に置いた箱には紙袋に入れた砂が幾つも並んでゐるが此砂屋の主人は淺草千束町の丹羽和夫(四八)と云ふ小父さんで、印袢纏を被て、髯むしや顏を向け乍ら語る「之はもう隨分遠い昔から始まつてゐるので、何でも我國で古來行はれてゐる砂撒の信仰から來た事ださうです、斯る靈地の砂なれば拔苦與樂の御利益があると信じられ、之を家の周りや門口へ撒いて置けば商業繁昌疑ひなしと言はれて、花柳界や緣起を祝ふ商賣人は殊に好く買つて歸ります。砂は參詣人が落して行く本堂の中の砂で、夫を篩に掛けて一々紙袋に入れて賣るのです。此商賣は本堂に雇はれて掃除してをる者の役目で、勝手に出てやる譯ではありません。元祖は何でも、觀音樣を川底からお救ひ上申した人の家に下男をして居た男ださうで、以前は下足番や使をする人と共に六人ゐたのですが、今では私と外に若い衆と三人交代でやつて居ます、値段は別に定めてありませんが、大概一錢宛置いて呉れます。中にはお思召で五錢十錢も下さる方もあり、賣れる數は平均六七十袋から百袋で一圓四五十錢位ありますが、賣上は皆な寺の所得になつて居ります。」

對反對です。しかし、これは誠に惑ひ易いことだと思ひます。なぜならば、今までの婦人は、あまりに壓制されてをりました。社會は男子ばかりで作つてゐるかの如くなつて、婦人はあまりに輕蔑されてをりましたそれが、十九世紀、否、二十世紀に入つて、女子教育が盛になり、今までは知識のないものとして顧みられなかつた婦人が、いろ〳〵のことを教へられて知識か増して來るに從つて、自分たちの地位を覺つて來ました。覺つて來ると、女も人間だといふ感じが起り。人間視して貰ひたくなります。卽ち婦人のために努力したくなります。

この關係は、日本外史の上梓と似てゐるところがあります。日本外史は水戸義公に依つて上梓されましたが、德川幕府は、そのために滅びました。

水戸義公は。人民に知識を得させるために、日本外史を上梓しました。ところが、それを讀んだ人々の頭には、忠君愛國の思想を萠して、とう〳〵王政復古となつて、德川の將軍職を廢されました。

また明治初年に、政府が國家を益せんがために、人々を洋行させました。すると、それらの人々は歸朝して政府のために盡すかと思ふと、國民ありての政府だから、代議政體にしなければならぬと、時の政府を改革しようとして運動したことがありました。

自分たちのためにしやうと思つて、面倒を見て教育を施し知識を與へた結果は、思ひがけぬ方向へ走る成行きとなりました。

これは、知識を與へられたために、道理を知つて、誤りを正さうとするやうになつたからです。知識のない頃は何とも思はなかつたことが、知識の眼が開けるに從つて、所謂自覺したのです。

男女の關係は、これとは違ひます。互に敵視すべきものでなし、共に助け合つて、よい後繼者を作る義務があります。それですから婦人も徒らに男子の壓制から免れようとするよりも、自分等の地位を高めて、自分の勢力と努力とでよい子を作るやうに、ますます女子教育を盛にしなければなりません。

そして、世間から女子教育の弊害を認められぬようにして、兒童の教育に努力し、將來の男子をして、女子を禽獸視せしめぬようにしなければなりません。

それと同時に、生存競爭の負擔を男子にばかり負はしめず、共に倶に敬愛し合つて、圓滿な家庭を作るような人格を養成しなければなりません。

婦人を畜生だと思つた人もないでしようが、今までは男子と禽獸の間ぐらゐに思はれてをりました。それが近頃の教育の方法で、決して男子に劣るものではない婦人も男子と同樣に人間であるといふことは、まづ一般に認められて來ました。

それですから、婦人も自活の人となつて、家を利して、國を益することを考へるのが至當だと思ひます。そして、婦人がその國家を利益する方法は、將來善良なる男女を作るのにあります。

これまでの男子は、あまり我儘でした。自分では勝手に不品行をしてゐながら、夫人が少しでも心配らしいことをいふと、嫉妬とか何とかいつて、非常に擯斥いたしました。虐待もいたしました。しかし、婦人はこの男子に養つて貰はなければ自活することさへできなかつたのです。

そんなことでは、婦人が向上し進歩することができやう筈はありません。婦人が無能無識無力で進歩しなければ、よい子を作ることができませんから從つて社會も進歩といふ方面から見て、婦人の向上進歩は、誠に喜ぶべきことだと思ひます。

□女學生の費用□

■■■はどの位かゝるだらうか■■■

大阪府立市岡高等女學校で調査によれば

□女學生一年間の學用品が三十六點で七圓九錢五厘、その重なるものは

▲裁縫用布七十八錢八厘▲雜記帳六十四錢七厘▲半紙四十九錢▲習字筆四十二錢一厘▲鉛筆三十九錢八厘▲封筒三十二錢八厘▲ペン二十七錢九厘▲繪具廿五錢四厘▲卷紙廿六錢五厘▲絲二錢五厘▲手帳十九錢七厘

□また日用品調査の方を見ると一年の平均が二圓四十錢、尤も四年間に使用した實際の額を一年に割つて見たので、洋傘等でも用ゐないものと用ひ居るものとを平均して居るから存外に少くなつて居る。

▲洋傘九十錢六厘▲雨傘六十二錢二厘▲風呂敷三十四錢三厘▲ハンカチ二十九錢六厘▲辨當函八錢九厘▲箸函四錢四厘▲湯呑四錢二厘▲箸三錢三厘▲木札二錢三厘

□服裝の部の調べが又意外に少額のは流石に質素なものと云はれる。而して一年平均額は十三圓五十錢七厘で、内譯は

▲袴二圓五十三錢五厘▲紋附一圓六十四錢▲靴一圓五十六錢▲上靴一圓四十七錢九厘▲靴下一圓十錢七厘其他二十點

而して以上の他に四年間の雜費として擧げてある平均額を見ると一人が十九圓六十錢八厘で主なる項目は

▲教科書四圓八十五錢七厘▲校友會費は六圓▲通信費二圓九十七錢▲割烹一圓五十錢▲運動會費九十錢▲書籍五十四錢四厘▲檢定料五十錢▲授業料二十一圓▲寫眞代二十八錢七厘等

また別に一年中の交通に要する費用を平均したものがある。

▲人力車賃十二錢四厘▲汽車賃二圓三十八錢六厘交通費八圓五十錢八厘

これで通算して見ると月謝を別にして

□費用總額 の一人平均が百二十二圓六十三錢四厘と云ふことになるので、是に約百圓の授業料を加へると正に二百二十餘圓を要する

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

最近の廓清運動

▲東京に於ける演說會

▲五月廿五日、東京神田青年會館に於て午後六時半より廓清大演說會を開く、伊藤秀吉氏司會の下に萬國東洋派遣員ストラウト女史は、ガントレツト恒子女史の通譯にて日本海外醜業婦に付て別項の如き大演說を爲し、三輪田元道氏は、仁人何處に在りやと題し、女子大學々監麻生正藏氏は婦人問題と賣春問題と題し、伊藤富士雄氏は當局者は遊廓を慈善事業と見るかと題し、安部磯雄氏は風紀問題としての公娼制度と題し、各々得意の熱辯を揮つて喝采聲裡に十時閉會、聽衆一千名、卽時入會者五十三名に達し、近來の盛會であつた。

▲飛田遊廓反對運動

▲飛田遊廓設置の反對運動は倦むことなく續行しつゝあるが、先日鳥人スミス氏の來阪を機として兼て同遊廓設置に反對せる高潔なる同士の同情に訴へて、遊廓設置の不合理を論じたるチラシ、數萬枚を飛行機上より大阪市中に撒布して大に市民の反省を促す處があつて、頗る有効なる影響を見たと云ふ。吾人はス氏が「余は不道德なる行爲を爲さゞるが故に墜落する憂ひなし」との尊き確信を有する人格に尊敬を拂はざるを得ざると同時に、我等の運動に此の援助を與へられたることを感謝せざるを得ない。(支部報)

矛盾せる現代

廣島 平山惣拾

現時社會の事物を見るに凡百のもの秩序整然なるが樣なれども、一度熟考せんかこれ等のもの悉く矛盾ならざるはないと云ふ有樣である。

嘗には「金滿家の子女は東都に學び遊樂にふけつて墮落するものが多いが、貧家の子女の中には苦學をしてまでも、智德を磨かんとするの美しい志がある」と稱した或著者が詐欺的行爲にいつて數十萬の金を蓄へたる今日、金錢萬能の論を吹聽して貧民の無能なすなきを罵れるなど事珍らしげに云ふの必要もあるまい。

世の多くの新聞紙がその社說欄に於て堂々說くところあれども、若し眼を三面欄に注がんか、不用の文字を弄して淫猥なる記事を羅列し、以つて青年の情慾を煽つて居るでないか。

學童を導き青年の模範たるべき小學敎員が、私通の結果惰胎罪を犯して、公判廷に淚を流し。或は已れの不行跡を注意せられたるを意にもち、短刀を提げて校長室に闖入せるものあり、又身を飾らんがため同僚のインバネスを窃み數へ見に懸想して遂に厳寒中を未決監に過し、更に甚だしきは身は郡視學の要職にありながら部下の女敎員と醜關係を結びて、官を免ぜらるなど、これ悉く最近本縣に於て演ぜられたる事實である。

又青年團の發團式に於て、宣言するところを見るに洵に一點の非難すべきところもなく、眞に有益なる團體なるが樣なれども、既に當日の餘興として浪花節、落語の類を以つてし或は新年青年會の名を以つて宴會を開き、他の青年を傷けて自殺せんとし、遂に病院に送られたる青年もあつた。若し彼等が滿場拍手を以つて可決せる決議文の如く履行せんか、私娼公娼も忽ちにして全滅する筈であるに、依然として殷盛を極めつゝあるは卽ち青年會の決議文を可決する時、彼等が拍手せしは鳥か獸でも追ふ氣分であつたのではあるまいか。

然らば政治家は如何であるかと見るに、昨は憲政の危機を叫んで天下を騷がし、今は官僚と提携するものあり。解散前の味方黨を解散後は敵黨として罵るものあり、或は已れの選擧干涉は棚に上げて、他人の選擧干涉を攻むるもの、口に公平を唱へて自黨の長所と他黨の短所を比較し、互に自惚的言辭を吐いて居るものもある。

個人の權利を尊重して、貞操の賣買を公許し健全なる國民を養成せんとして蕩兒の養成所を保護し、或は社會の改善に努力して遊廓の增設をなし、公娼自由廢業の法規を設けて、不自由廢業命懸け廢業たらしむるなど、これ悉く大なる矛盾でないか。

然して眞面目なれ、潔白なれと命ぜらるゝ國民は、禍なる哉。恰も水に入れよ而して衣を濕す勿れと命ぜらるゝと一般である。

平和主義を以て國是となす强國が、更に軍備の大擴張を斷行する今日のことなれば、或は矛盾は一種巧みなる方法なるやも知らざれども、何事も柔順なる國民と雖も、あまりに露骨なる矛盾を繰り返されんか、遂には眞意を疑ひて、取り返しの付かぬ破目に陷るやも保し難い。故にいゝ加減な所で猛省して然るべしであらう。

總會公告

來る十六日(土)午後二時より、東京神田青年會館に於て廓清會總會を開く。會員諸君の來會を望む。

第一部、事業報告、會計報告。
第二部、事業計劃、役員改選。
第三部、晩餐懇談。(晩餐希望者に限り五十錢)
第四部、演說會(午後六時半)出席者略左の如し
島田三郎氏。安部磯雄氏。藤沢博士。福來博士。其他

大正六年六月
廓清會長 島田三郎

編輯の後

□楓の枝頭に紅貝をつけたやうな赤い若葉がチロ／＼吹き出したかと思へば直ぐ新緑の陰が漲る時節となつて來た。何時になつても吾人の働き場は周圍に滿ちて居る。公娼問題解決とか、私娼問題、結婚離婚等數へ來たれば十指を屈しても尙足らざるの有樣である、吾人の主義を喧傳して使命を盡すべき舞臺と絶好の題目とは眼前に展開されて何れも廓淸を要せざるものはない。奴隷の遺風たる公娼制度、日々頽れ行く風紀等は吾人の網膜にどのやうに映ずるであらう。覺醒せる靑年男女は本會の主旨を贊同せられて此の運動に參加せられよ。而して本會は尙一層目醒しい活躍を試み理想社會の建設を謀るべく會員諸君は同志糾合に努められんことを切望する。

□歐洲戰爭は何時歇むかどうかそんなことは見當は付かぬが、交戰各國は物資の不足を訴へて實に慘たるものがあるさうだ、逍の大英國も此頃は大分弱り切つて居る。食糧殊に砂糖や肉類、麥粉等が段々缺乏して、一般の日常生活には非常な苦痛を與へられて居る。併し乍ら此の國の戰備は昨今に至つて漸く完備したとのことで、國民の意思は益々緊張し來り國民の愛國心は彌よ熱烈に發揮せられて老幼婦女の心にまで浸潤して日夜國事に全力を傾けて居る多くの婦人の居ることは既に耳新しくも無いことである。實際此等の婦人の背後運動は遺憾なく行はれて居る上に、或る者は隊を組んで戰線に加り、兵士と共に塹壕内に在つて自國軍を援けて居る等有髯男子をも及ばぬ目醒しい働きであるとのことである。無爲徒食何等爲す處なき我婦人も少しは之等に學で覺醒一番大に發奮しては如何。只案山子の樣な生涯を送つて何時までも男子の生慾滿足の機關を以て自ら任じ得々として居る樣では我國も婦人の爲に國運衰微の時機は來る。一方新らしい女はヒヨン／＼彼地此地を飛び廻つて唐人の寢言の樣な揄へ所のない思にも付かぬことを喋り立てゝ居るが、憖う云ふ國家的居候が益々增へれば物資缺乏の今日國の食倒れと云ふ歷史にもない珍な事を行らかすかも知れぬ。かうなると婦人問題の研究も女子敎育も仲々六ケ敷い。

□米國に凍死か貞操かの哀話がある。之れは何のことかと調べて見たら、南ダニメ州ペリフオルデの豪農の愛娘フローレンス、ハインバウと言つて妙齡の美人があつた。町内のウオルターウキルソン君とは親も許した許嫁の間柄である。一夜花の樣な一對は皚々たる降雪の中に馬を驅つて隣町の舞踏會に出掛けた。途中にして風雪益々激しく前途咫尺も辨じ難い始末で道は失ふ、馬は疲れる、二人は寒さと餓を忍んで終夜を玆に明かすより外に方法は付かなかつた。窮すれば策ありで、ウヰルソン君は馬車内に毛布や二人の外套を敷いて其の中にもぐり込み抱き合ひ乍ら暖を取らうと申し出たが、餓と寒氣に蒼白となつたローレンス孃は滿面に紅を浮べて未婚の男女同衾しては處女の名に對して恥かしいとて、情人の切な願を斷乎として之を斥け、何處を目當ともなく吹雪の中に夜を籠めて逍遙ひ歩いた。東天紅を帶ぶる頃零下三十度の寒氣に孃は遂に凍死して終つた。ウキルソン君が聲を限りに呼んだが石膏像の如く引締つた口から何の答もなかつた。

□物價指數と、統計ばかりの米國でも慾うした純潔な女子の美德がある。然るに我國では未婚の男女が愚か既婚の男女は白晝公然と私通、姦通、强姦と云ふ痛ましい事を演じて滔々たる淫風の中に居ることを庇とも思はない。貞潔の操德の文字も彼等に依つて何の意味も爲さず葬られつゝある。某伯爵の若夫人、神近市子や岩野泡鳴や淸子等にフローレンス孃の爪の垢でも煎じて飮ましたいものだ。

□山室大佐の今次の旅行は道中の危險な旅行であつたが、去る廿八日、聖護の下に無事倫敦に着かれたとの電報があつた。

□益富理事はハワイで彼地の名士や、新州社の人々と廓淸に關する意見の交換をせられたと云ふことは同地の新州紙が可成り長く報ぜられた。それから去る廿九日桑港に着かれて今時分は加州方面で廓淸の爲め、活動せられて居ることゝ信ずる。

□本年度の總會も愈々今月十六日午後二時靑年會館と決定しました。會員諸君は今年は是非奮つて來會を願ひます。（角雅堂）

大正六年六月一日納本（毎月一回一日發行）
大正六年六月一日發行　一部金七錢郵稅共

神田區今川小路一丁目三番地
編輯兼發行人　伊藤秀吉

小石川大塚窪町一番地
印刷人　久保民生

京橋區弓町十三番地
印刷所　千代田印刷株式會社

芝區三田四國町二番地
發行所　廓淸會本部
電話芝五八五五番
振替東京二七〇七二番

◉御注文の際は必ず雑誌『廓清』による旨を申添を乞ふ◉

産婦人科。小兒科

女醫 鷲山改め 吉岡彌生

△院長診療 宅診午前 往診午後
△醫員診察 午前 午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應す

東京市麹町區飯田町四丁目三十一番地

東京至誠病院

電話番町二二五七番

山室軍平氏著

社會廓清論

特價七十錢 郵稅八錢

グレゴリー氏著（邦譯）

歐洲諸國醜業公認制度廢止運動

特價 稅共 十錢

伊藤秀吉氏著

娼妓自由廢業案内

特價 稅共 十二錢

酒きらいになる藥

禁酒丸

一週分 一圓
二週分 一圓九十錢
三週分 二圓八十錢

とんな酒煙草のみでも害なく心からきらいになる。郵劵二錢送れば説明書及大澤博士其他名士の

禁酒 禁煙 論 呈進

禁煙液

煙草きらいになる藥

金五十錢 金壹圓 金一圓五十錢

本舗 大阪靭南通二丁目 森田商店

電話土佐堀二六〇二番
振替大阪二二壹二六番

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA.

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

診察毎朝及毎夕　但祭日及日曜之他

院長診察月、金、木、午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）

電話番町六二番　**東洋内科醫院**

院長　醫學博士　**高田畊安**

電話ちがさき二番　**南湖院**

神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後　入院診後應需

診察毎朝　但祭日及日曜及土曜之他

紳士の朝
効力五倍以上のクラブ歯磨
お顔には
クラブ歯磨
クラブ洗粉
クラブゼリー
頭髪には
クラブキニーネ
クラブポマード
クラブチック
儀容端正